

延岡・西臼杵ブロック地域
循環型社会形成推進地域計画

【第2期計画】

平成23年1月

延岡市・高千穂町・日之影町・五ヶ瀬町

【 目 次 】

1. 地域の循環型社会形成を推進するための基本的な事項.....	1
(1) 対象地域	1
(2) 計画期間	1
(3) 基本的な方向	2
(4) 宮崎県ごみ処理広域化計画の進捗状況.....	4
2. 循環型社会形成推進のための現状と目標.....	5
(1) 一般廃棄物等の処理の現状.....	5
(2) 生活排水処理の現状	6
(3) 一般廃棄物等の処理の目標.....	7
(4) 生活排水処理の目標	8
3. 施策の内容	9
(1) 発生抑制、再使用の推進	9
(1) 水環境保全の推進	15
(2) 処理体制	17
(3) 処理施設等の整備	20
(4) その他の施策	21
4. 計画のフォローアップと事後評価.....	22
(1) 計画のフォローアップ	22
(2) 事後評価及び計画の見直し.....	22

【添付資料】

- 様式1：循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表1
- 様式2：循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表2
- 様式3：地域の循環型社会形成推進に向けた施策の一覧
- 参考資料様式
- 添付資料1：対象地域図
- 添付資料2：一般廃棄物等の処理の現状と目標の設定
- 添付資料3：人口及び一般廃棄物に関するトレンドグラフ

延岡・西臼杵ブロック地域 循環型社会形成推進地域計画

延岡市
高千穂町
日之影町
五ヶ瀬町

平成 23 年 1 月 12 日

1. 地域の循環型社会形成を推進するための基本的な事項

(1) 対象地域

構成市町村名：延岡市、高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町

※構成市町の内、高千穂町、日之影町及び五ヶ瀬町の西臼杵郡 3 町においては、ごみ処理に係る事務について、3 町で構成する一部事務組合「西臼杵郡衛生組合」が行っている。

面 積：1,554.77km²

人 口：157,477 人（平成 22 年 3 月 31 日現在：住民基本台帳人口）

※但し、外国人登録人口を含む。

表-1 延岡・西臼杵ブロック地域各自治体の人口及び面積

自治体名	面積	人口
延岡市	868.00 km ²	133,928 人
高千穂町	237.32 km ²	14,103 人
日之影町	277.68 km ²	4,837 人
五ヶ瀬町	171.77 km ²	4,609 人

(2) 計画期間

循環型社会形成推進地域計画（以下、「第 2 期計画」という。）は、平成 23 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日までの 5 年間を計画期間とする。

なお、目標の達成状況や社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要に応じて計画を見直すものとする。

※平成 17 年 7 月に策定した「延岡・西臼杵ブロック地域循環型社会形成推進地域計画」は、平成 18 年 3 月に、市町合併による構成自治体の変更及び熱回収施設の事業名称変更による計画変更を行っており、また平成 22 年 1 月に最終処分施設整備事業とその計画支援事業に関する計画変更を行っているため、この変更後の計画を「第 1 期計画」と呼ぶこととする。

(3) 基本的な方向

【ごみ処理編】

宮崎県の北部に位置する延岡・西臼杵ブロック地域（以下「本地域」という。）は、東は「日豊海岸国定公園」に指定されているリアス式海岸が特徴的な太平洋日向灘に面しており、北は「祖母傾国定公園」に指定されている祖母山（標高 1,757m）、傾山（標高 1,602m）をはじめとする標高 1,000m を超す山々が連なり、さらに本地域を主要水源である五ヶ瀬川（1級河川：全長 91.8km）が日向灘へ貫流している。

本地域は海・山・川に恵まれた自然豊かな地域であるが、祖母傾国定公園や高千穂峡をはじめとする急峻な地形が多く、平地が少ないことから人口は下流地域の延岡市に集中している。

本地域の基幹産業となっている農林業においては、有機残渣や剪定くずの一部を家畜の飼料や畑・山林への還元、更には薪として利用していたが、近年、飼養農家の減少や薪等への利用も激減している状況にある。

また、本地域の中核都市である延岡市は東九州最大の工業都市であり、工場以外にも商業施設や公的施設が集積しており、「事業系一般廃棄物」が排出されやすい環境にある。延岡市の沿岸部では「漁業系廃棄物」が、五ヶ瀬川の上流域にある九州屈指の観光地である高千穂町や五ヶ瀬町では「観光ごみ」が排出されやすい環境となっている。

また、本地域は 4 つの 1 級河川が貫流すると同時に、50km 近い海岸線を有していることから、台風時期や梅雨時期の集中豪雨時に、河岸・海岸部・道路などでは「漂着ごみ」が、また住居区域においては床下・床上浸水被害による「浸水ごみ」が毎年のように発生していることから、平成 17 年 7 月に「延岡・西臼杵ブロック地域循環型社会形成推進地域計画」を策定し、水害ごみも焼却処理が可能となる「エネルギー回収推進施設」を整備した。

本施設では施設で発生する熱源を利用して、発電（2,150kW）や場内利用はもとより、隣接する健康増進施設「ヘルストピア延岡」の温水プールや浴場、下水道処理場の消化槽の加温、延岡市総合文化センターの冷暖房などに余熱の供給を行い、地球規模での課題である CO₂ 削減対策を積極的進めている。

なお、本地域では第 1 期計画の基本方針とした「ペットボトルやその他のプラスチック容器」の分別収集を平成 18 年度に、ごみ袋の有料化を平成 21 年 4 月に実施し、着実に循環型社会の形成に向けた施策の展開を図っている。

今回策定する「第 2 期計画」においては、第 1 期計画の施策を踏襲し、ごみ減量化や資源化の推進に関する目標設定を行っていくものとする。

また、本目標値をもとに、第 1 期計画において着手して実施中である最終処分場の整備を推進していくものとする。

表-2 各種計画及び方針との関係

計画及び方針	整合性等
宮崎県ごみ処理広域化計画	広域化計画通りの枠組みで新焼却施設を整備
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 第5条の2 「環境大臣が定める基本的な方針」	排出量 5%削減
	→平成 20 年度実績に対し平成 28 年度で約 16%削減
	再生利用率 24%達成
	→平成 28 年度で再生利用率約 18%の達成を目標
	最終処分量を半減
	→焼却灰のセメント原料化に伴い半減達成

【生活排水処理編】

本地域は五ヶ瀬川、北川等の豊かで良質な水に恵まれており、河川は工業用水や農業用水等の利用のみならず、水浴場や魚釣り等多くの住民に親しまれている。

このような水環境を保全するため、本地域では構成市町の地域特性にあわせた公共下水道、集落排水及び合併浄化槽の整備などの事業を進めたことにより、8割近くの生活排水は処理できるようになっているが、未だに2割を越える未処理の生活排水が排出されている状況である。

第2期計画においても第1期計画の基本理念である「生活排水を適切に処理して自然環境に戻すことが社会的責務である」という基本方針を踏襲し、各種の生活排水対策関連事業の整合性を図りつつ、水洗化を進めていく方針とする。

本計画では特に浄化槽設置整備事業により生活排水処理区域の拡大を図る方針とするものであるが、施設整備と並行して住民啓発にも取り組む方針とする。

(4) 宮崎県ごみ処理広域化計画の進捗状況

宮崎県では「宮崎県ごみ処理広域化計画」(以下、「広域化計画」という。)を、旧厚生省の通知を受けて、平成 11 年 3 月に策定している。

広域化計画では、県内を 7 つの広域ブロックに分割し、①環境負荷の低減（焼却施設の集約化、焼却残渣の高度処理、管理型最終処分場の確保）、②排出抑制・資源化（ブロック内での統一した分別収集の推進、リサイクル（マテリアル及びサーマル）の推進）、③公共事業費の縮減（施設の集約化、効率的な収集運搬体制の確保）の 3 つの基本方針が定められている。

なお、本地域は、県北グループの延岡・西臼杵ブロックとして位置付けられており、延岡市、高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町の 4 市町で広域化を図ることが計画されている。

本地域では、第 1 期計画で定める基本的な方向に沿って広域化計画に準じた熱回収施設の整備を行っているが、第 1 期計画において着手して実施中である延岡市の最終処分場の整備が行えていないことから、第 2 期計画ではこれを整備する方針としている。また、広域化計画では、熱回収施設の他、中継施設及びリサイクルプラザを整備することとされているが、これらについては既に整備済みとなっている。

なお、西臼杵郡内で整備することとなっている最終処分場については、次期以降の計画で検討していく方針としている。

2. 循環型社会形成推進のための現状と目標

(1) 一般廃棄物等の処理の現状

平成 21 年度の一般廃棄物の排出、処理状況は図-1 に示す通りである。

総排出量（計画処理量＋資源回収量）は 54,310t であり、再生利用される「総資源化量」は 11,380t でリサイクル率（＝（直接資源化量＋処理後再生利用量＋資源回収量等）÷計画処理量）は 20.95% である。

中間処理による減量化量は 37,749t であり計画処理量の概ね 69.51% が減量化されている。また、総排出量の 9.54% に当たる 5,181t が埋め立てられている。

なお、中間処理量のうち焼却量は 44,406t であり、可燃ごみの広域処理を既に実施している。なお、平成 21 年 4 月より「延岡市清掃工場」を供用開始しており、焼却による余熱等を、健康施設「ヘルストピア延岡」の温水プールや場内の冷暖房、下水処理場及びし尿処理施設の消化槽の加温等に利用している。また、自家発電も行っており、余った電力は売電している。

延岡市は、平成 21 年 4 月にごみ袋の有料化を実施していることから、平成 21 年度の実績値が大きく変動していることから、参考として図-2 に平成 20 年度の処理状況フローを示した。

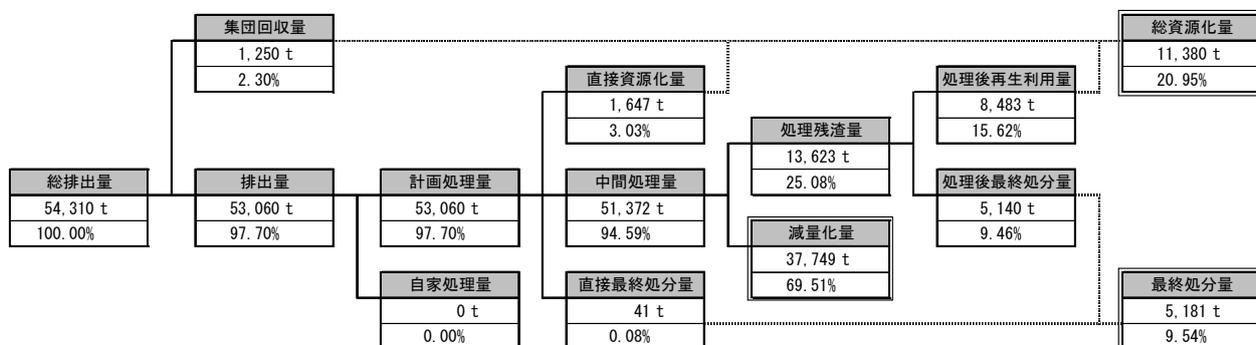


図-1 延岡・西臼杵ブロック地域の一般廃棄物の処理状況フロー（平成21年度実績）

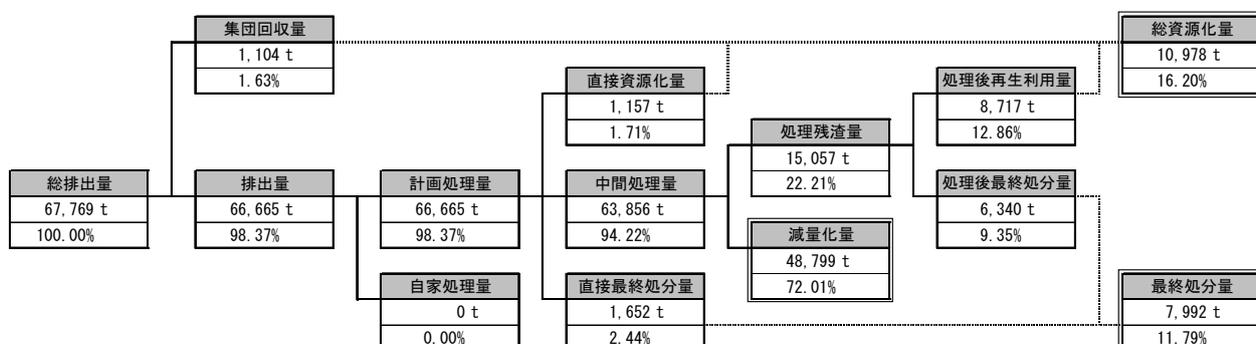


図-2 延岡・西臼杵ブロック地域の一般廃棄物の処理状況フロー（平成20年度実績）

(2) 生活排水処理の現状

本地域の平成 21 年度の生活排水及び処理状況は、図-3 に示す通りである。

生活排水処理対象人口は外国人登録人口を含め、全体で 157,477 人であり、処理人口は 124,699 人、生活排水処理率（＝（公共下水道処理人口+集落排水処理人口+合併処理浄化槽処理人口）÷（住民基本台帳人口+外国人登録人口））は 79.2%である。

し尿発生量は 8,875kL/年、浄化槽汚泥発生量は 33,517L/年である。

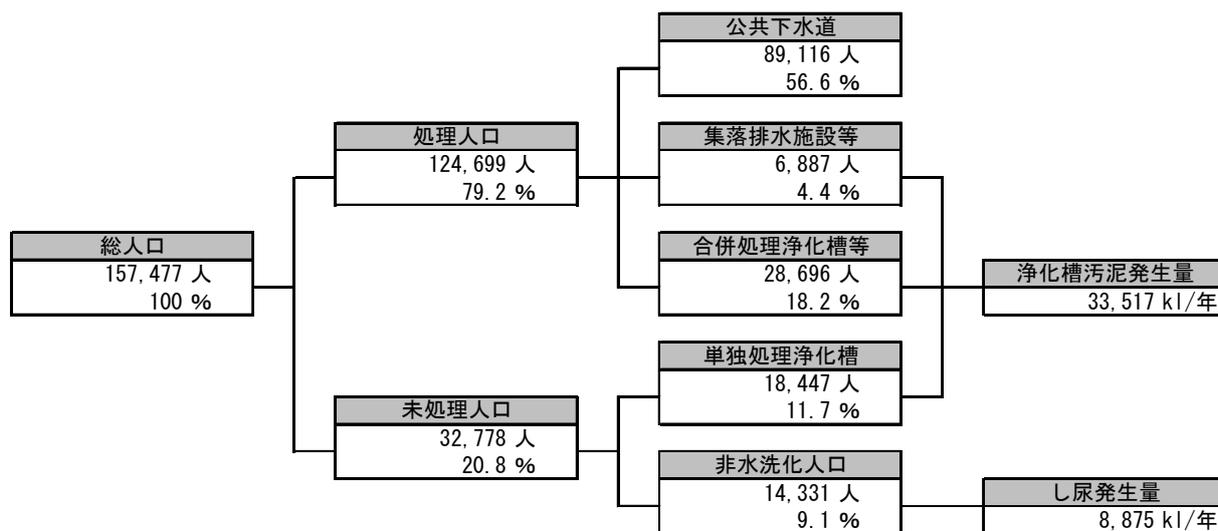


図-3 延岡・西白杵ブロック地域の生活排水の処理状況フロー（平成21年度実績）

なお、延岡市衛生処理センターでは、延岡市の処理汚泥の一部を民間施設に委託し、堆肥化による再資源化を行っている。

また、西白杵郡のし尿処理施設においては、脱水汚泥を肥料として、郡内の希望者に農地還元している。

(3) 一般廃棄物等の処理の目標

本計画の計画期間中においては、廃棄物の減量化を含め循環型社会の実現を目指し、表-3及び図-4のとおり目標量について定め、それぞれの施策に取り組んでいくものとする。

参考として、添付資料3に人口及び一般廃棄物に関するトレンドグラフを添付する。

表-3 減量化、再生利用に関する現状と目標

指 標		現状（割合※1） （平成20年度）	有料化開始年（参考） （平成21年度）	目標（割合※1） （平成28年度）
人口		158,717 人	157,477 人	144,751 人
総排出量※4		67,776 トン	54,310 トン	57,127 トン（-15.7%）
1人1日当たりの排出量※5		1,170 g/人・日	945 g/人・日	1,081 g/人・日（-7.6%）
排出量	事業系	25,266 トン	20,077 トン	21,655 トン（-14.3%）
	1事業所当たりの排出量※2	3.03 トン/事業所	2.33 トン/事業所	2.53 トン/事業所（-16.5%）
	家庭系	41,406 トン	32,983 トン	34,322 トン（-17.1%）
	資源化量	3,797 トン	4,856 トン	4,804 トン（26.5%）
1人当たりの排出量※3		237 kg/人	179 kg/人	204 kg/人（-13.9%）
再生利用量	直接資源化量	1,157 トン（1.71%）	1,647 トン（3.03%）	1,657 トン（2.90%）
	総資源化量	10,978 トン（16.20%）	11,380 トン（20.95%）	9,742 トン（17.05%）
集団回収量	集団回収量	1,104 トン（1.63%）	1,250 トン（2.30%）	1,150 トン（2.01%）
熱回収量	熱回収量（年間の発電電力量）	—	—	13,516 MWh
減量化量	中間処理による減量化量	48,806 トン（72.01%）	37,749 トン（69.51%）	40,832 トン（71.48%）
最終処分量	埋立最終処分量	7,992 トン（11.79%）	5,181 トン（9.54%）	6,553 トン（11.47%）

※1：排出量は現状に対する割合、その他は排出量に対する割合

※2：1事業所当たりの排出量 = { (事業系ごみ総排出量) - (事業系ごみの資源ごみ量) } ÷ 事業所数

- ・平成20年度：(25,266t/年 - 2,344t/年) ÷ 7,561箇所 ≒ 3.03t/事業所
- ・平成28年度：(21,655t/年 - 2,518t/年) ÷ 7,561箇所 ≒ 2.53t/事業所
- ・事業所数は平成18年度の実績値をもとに7,561箇所を一定とした。

※3：1人当たりの排出量 = (家庭系ごみの総排出量 - 家庭系ごみの資源ごみ量) ÷ 人口 × 1,000

- ・平成20年度：(41,406t/年 - 3,797t/年) ÷ 158,717人 × 1,000 ≒ 237kg/年
- ・平成28年度：(34,322t/年 - 4,804t/年) ÷ 144,751人 × 1,000 ≒ 204kg/年

※4：総排出量 = 家庭系排出量 + 事業系排出量 + 集団回収量

※5：1人1日当たりの排出量 = 総排出量 ÷ 人口 ÷ 365日 × 10⁶

※6：平成21年度はごみ袋の有料化を開始した年であるため、目標年度との比較は平成20年度実績とした。

《指標の定義》

総排出量：生活系ごみ、事業系ごみ、集団回収量の和 [単位：t]

排出量：事業系ごみ、生活系ごみを問わず、出されたごみの量（集団回収されたごみを除く） [単位：t]

再生利用量：集団回収量、直接資源化量、中間処理後の再生利用量の和 [単位：t]

熱回収量：熱回収施設において発電された年間の発電電力量 [単位：MWh]

減量化量：中間処理量と処理後の残渣量の差 [単位：t]

最終処分量：埋立処分された量 [単位：t]

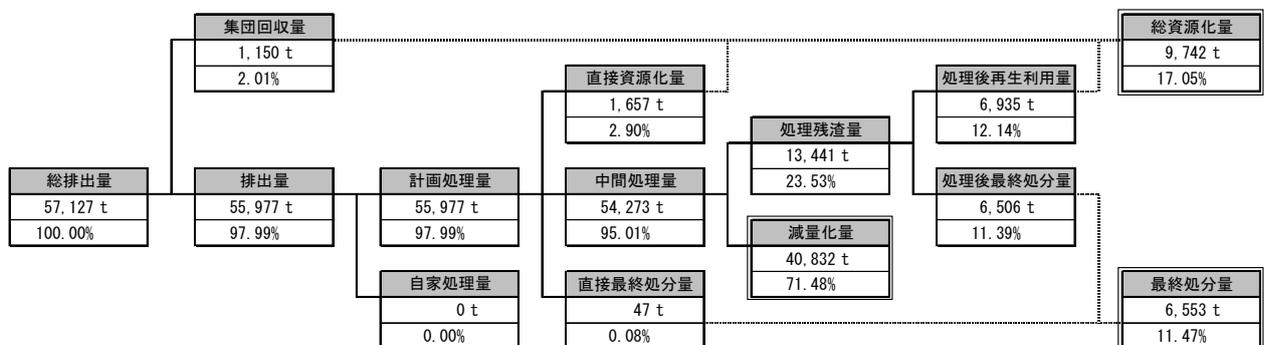


図-4 目標達成時の一般廃棄物の処理状況フロー（平成28年度）

(4) 生活排水処理の目標

平成 21 年度の本地域内の排出、処理状況は表-4 に示すとおりである。

本計画の計画期間中においては、水環境の保全を含め循環型社会の実現を目指し、同表に掲げる目標値を定め、各種計画との整合性を図りつつ、それぞれの施策に取り組んでいくものとする。

表-4 延岡・西臼杵ブロック地域全体の生活排水処理に関する現状と目標

項 目		平成21年度実績	平成28年度目標
処理形態別人口	公共下水道	89,116 人 (56.6 %)	90,051 人 (62.2 %)
	農業集落排水施設等	6,887 人 (4.4 %)	6,887 人 (4.8 %)
	合併処理浄化槽等	28,696 人 (18.2 %)	32,905 人 (22.7 %)
	未処理人口	32,778 人 (20.8 %)	14,908 人 (10.3 %)
	合計(生活排水処理率)	157,477 人 (79.2 %)	144,751 人 (89.7 %)
し尿・汚泥の量	し尿量	8,875 キロリットル	4,366 キロリットル
	浄化槽汚泥量	33,517 キロリットル	29,163 キロリットル
	合 計	42,392 キロリットル	33,529 キロリットル

3. 施策の内容

【ごみ処理編】

(1) 発生抑制、再使用の推進

ア. ごみ処理の有料化

家庭ごみの有料化については、高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町の西臼杵郡 3 町が先行して実施していたが、平成 21 年 4 月より延岡市も指定袋制による有料化を導入したことから、本地域全域においてごみ処理の有料化が行われている。

ただし、延岡市ではごみ処理の有料化が実施されたばかりであることから、リバウンドなども含めて動向を確認していくものとする。

また、事業系廃棄物の多い延岡市では、平成 17 年 7 月より、事業系一般廃棄物の市直営収集を廃止し、事業系と家庭系の一般廃棄物の区分の明確化を図っている。

イ. ごみ減量の啓発普及

本地域では、住民や事業者のごみ減量に対する意識の高揚を図るため、以下の施策を計画・実施するものとする。

① 住民説明会の実施（本地域全域）

延岡市では、市全体で取り組んでいる「リフレッシュのべおか出前講座」の一つのメニューとしてごみ講座を行っており、概ね 10 人以上の市民で構成された団体・グループからの要望に応じ、手軽でわかりやすい説明会を実施している。今後も本地域のすべての自治体で、積極的に説明会を実施し、ごみの減量や排出抑制への理解を深めるものとする。

② ごみ減量十か条の啓発推進（本地域全域）

延岡市では各家庭でできるごみ減量化方策（ごみ減量の十か条）を市民に啓発推進しているが、これを本地域内全域での取り組みとして拡大を図る方針とする。

◆ごみ減量の十か条◆

1. 使い捨て商品は、なるべく買わない。
2. 過剰包装は断る。
3. 買い物のときは、買い物袋を持参する。
4. 詰め替え商品を利用する。
5. 食品は買いすぎず、作りすぎず、残さないようにする。
6. 利用できるけど使用しないものは、人に譲るかフリーマーケットなどへ出して再利用してもらう。
7. 使えるものは最後まで使う。
8. リサイクル商品を進んで購入する。
9. 直せる家電製品などは直して使う。
10. きちんと分別し、資源物回収に協力する。

③ 各種イベントでの啓発（本地域全域）

「延岡アースデイ」、「のぼりざるフェスタ」等の各種イベントを通して、住民や事業者のごみ問題への関心を高めている。本地域内で開催しているイベントは、以下のとおりとなっている。

- ・ 「延岡アースデイ」（延岡市）
- ・ 「のぼりざるフェスタ」（延岡市）
- ・ 「サウンドビーチすみえ」（延岡市）
- ・ 「九保祭（九州保健福祉大学）」学園祭（延岡市）
- ・ 「北方町干支のまちフェスティバル」（延岡市）
- ・ 「海鮮！山鮮！きたうら市！」（延岡市）
- ・ 「北川町産業祭」（延岡市）
- ・ 「町民のつどい」（高千穂町）
- ・ 「建国まつり」（高千穂町）
- ・ 「ひのかげ溪谷まつり」（日之影町）
- ・ 「ふくしまつり」（五ヶ瀬町）
- ・ 「夕日の里フェスタ」（五ヶ瀬町）

④ ごみ減量功労者の表彰（延岡市）

ごみ減量に関して、特に顕著な功績のあった者や団体に対して、環境衛生週間を利用し、表彰している。

ウ．環境教育の推進

① 夏休みごみ体験ツアーの実施（延岡市）

市内小学校の5・6年生を対象に平成6年度から夏休み期間を利用して、ごみの収集体験や施設見学ができる「夏休みごみ体験ツアー」を実施しており、ごみの現状や問題を理解してもらいながら、分別やリサイクルを学ぶ機会を提供していることから、今後も継続して実施する方針である。

② 施設見学会の実施（本地域全域）

本地域内の小学校の児童による社会科授業の一環として清掃工場やリサイクルプラザ等の施設見学を今後も継続して実施する。また本地域内の住民団体（区長会・女性団体・高齢者クラブ等）の視察等も継続して実施する。

表-5 延岡市清掃施設の見学実績（平成21年度）

年度	小学校	対象者数	高校以下	対象者数	住民団体	対象者数
平成21年度	25校	1,376人	38団体	1,708人	84団体	1,715人

③ ごみ減量ポスターコンクールの実施（延岡市）

延岡市では市内の小中学生を対象に、ごみ減量に関するポスターコンクールを開催していることから、今後も継続して実施する。

エ．市民団体との連携

ごみの減量や排出抑制のためには、市民団体との連携が必要であるため、以下の施策を計画・実施する。

① 各種団体における活動の推進・連携（本地域全域）

地域内の構成市町には、それぞれごみ減量化をはじめとする環境問題について協議する組織・団体を設置しているため、これらの組織を通じて、地域住民や事業者への啓発を行うものとする。構成市町の組織・団体は以下のとおりである。

- ・ 「延岡市ごみ減量化対策懇話会」（延岡市）
- ・ 「延岡市生活学校連絡協議会」（延岡市）
- ・ 「延岡市地域婦人連絡協議会」（延岡市）
- ・ 「高千穂町廃棄物減量等推進員会議」（高千穂町）
- ・ 「日之影町自治公民館女性部連絡協議会」（日之影町）
- ・ 「五ヶ瀬町生活環境保全対策協議会」（五ヶ瀬町）

② 市民団体との協働活動（延岡市）

延岡市では、延岡生活学校連絡協議会と共同で、毎年分別収集実態調査を行い、分別収集の進捗状況を把握するとともに、調査結果を基にきめ細かい啓発活動に活用していることから、今後もこうした協働活動を継続していくものとする。

オ. CATV・広報紙を活用した情報の提供（延岡市）

延岡市では、地元 CATV「ケーブルメディアワイワイ」の市政だよりコーナーや市広報紙の「広報のべおか」に「クリーンセンターだより」の欄を設け、ごみに関する情報提供を行う。また、清掃施設立地周辺の地区住民に対しては、平成 14 年度から、4 か月に 1 回の割合で発行している地元向けの情報誌「クリーンセンターだより」を継続発行し、情報公開に努めるとともに、施設立地地域との共存共栄を図っていく方針とする。

カ. 市民や事業者による資源化の推進

① 集団回収への助成（延岡市）

本地域のうち、延岡市では親子会や高齢者クラブ等の団体が実施する集団回収に対して助成を行っている。集団回収は、環境教育や地域コミュニティの育成に役立つ施策であり、かつ効率的な資源化が図られるため、実施団体の拡大に取り組む方針とする。

表-6 資源再利用奨励補助事業の過去3年間の実績

年度	古紙類 (t/年)	繊維類 (t/年)	金属類 (t/年)	生きびん		ケース類		ペットボトル (t/年)	補助金額 (円/年)
				(本/年)	(t/年)	(個/年)	(t/年)		
H19	905	1	34	129,543	89	867	2	73	5,202,300
H20	896	0	47	119,996	82	993	2	78	4,675,000
H21	1,024	0.2	69	97,901	68	850	2	87	5,098,000

② 生ごみ処理容器・機器の購入への助成（延岡市・日之影町）

本地域のうち延岡市、日之影町では、家庭用生ごみ処理容器・機器の助成を行うことで、生ごみの減量に一定の効果があるため、今後も継続して実施していく方針とする。

表-7 生ごみ処理容器購入補助事業の過去3年間の実績

年度	延岡市		日之影町	
	基数	補助金額	基数	補助金額
	(基)	(円)	(基)	(円)
H19	6	15,500	2	23,600
H20	26	57,000	5	34,000
H21	491	8,421,900	0	0

表-8 生ごみ処理機器購入補助事業の実績

	延岡市		日之影町	
	開始年度	累積基数	開始年度	累積基数
	(-)	(基)	(-)	(基)
H21年度時点	H4年度	3,434	H13年度	70

※延岡市の累積基数には、旧北浦町を含んでいる。

③ オフィス町内会事業の拡大（本地域全域）

延岡市では、企業や官公庁等の事業所から排出される使用済み OA 古紙が、有用な再生資源であることに着目し、平成 7 年から再生紙工場（北九州市）の協力を得て、トイレットペーパー（「おかえりなさい」）として再生し、市内事業所等で利用しているが、この事業を地域内自治体及び事業所まで含めた取り組みに拡大を図る方針とする。

表-9 オフィス町内会事業の過去3年間の実績

年度	古紙処理量 (t/年)
H19	13
H20	14
H21	12

④ 事業系生ごみの資源化（本地域全域）

延岡市では、魚腸骨や市内小中学校の給食残渣を、延岡有機肥料センター（延岡市追内町）にて、肥料の原料として利用している。また、漁業系一般廃棄物の一部を処理委託している。なお、西臼杵 3 町については、事業系生ごみのコンポスト化等の処理の可能性について研究を進めていく方針とする。

表-10 事業系生ごみ堆肥化事業の過去3年間の実績

年度	処理量 (t/年)
H19	821
H20	665
H21	846

⑤ ごみ処理集積所設置に対する助成（延岡市・高千穂町・日之影町）

延岡市では、ごみに対する理解とマナーの向上を促進し、生活環境の清潔の保持を確保すると共に、住民の経費負担を軽減し、ごみステーションの整備促進を図るために、平成 21 年度から自治会等に対し補助金を助成している。

また、宮崎県北最大の観光地である高千穂町及び日之影町においても、その景観の維持に積極的に取り組んでおり、ごみの排出抑制、適正な分別の推進、並びに生活環境を清潔に保つことを目的に、適正なごみ集積所を設置する地区に対し補助金を交付している。

表-11 ごみ集積所設置助成事業の過去3年間の実績

年度	高千穂町		日之影町	
	箇所	補助金額	箇所	補助金額
	(基)	(円)	(基)	(円)
H19	4	60,000	1	30,000
H20	2	30,000	0	0
H21	2	30,000	1	30,000

⑥ ごみ集積所の維持管理に対する補助金（延岡市）

平成 21 年度より延岡市では、地域住民との協力体制の構築とごみの分別指導員の充実を図るために、ごみ集積所の管理を行う自治会等に対し補助金の助成を実施していることから、今後も継続していくものとする。

【生活排水処理編】

(1) 水環境保全の推進

ア. 住民啓発の推進

本地域においては、現状で生活排水が処理されているのは人口の約 8 割近くであり、2 割を越える住民の生活排水が処理されないまま家庭から河川等に流されている。河川の汚れの主要因のひとつは生活排水であるところから、これを処理する施設整備を進めるとともに地域住民一人ひとりの心がけにより負荷を低減することが重要であると考えている。本地域としては、住民の意識向上を図り、ひとりでも多くの人が水を汚さないよう工夫するよう県と連携して啓発に努めることとする。

イ. 地域における各種啓発活動

① 小中学生による水生生物調査（本地域全域）

地域内の小中学生を対象に、子供たちが故郷の河川の現況と生物の多様性を学び、水環境保全の重要性を理解してもらうための水生生物調査を行っているため、こうした調査を継続していくものとする。

② 水環境保全の出前講座（延岡市）

市職員が教室に出向き、子供たちに水の循環や、現在の生活排水処理の状況を説明する出前講座を実施しているため、こうした活動を継続していくものとする。

③ 水辺の自然保護の看板設置（延岡市）

豊かな水環境の基に生息する希少生物の保護及び市民に対する周知を行うために、看板の設置を行う活動を継続していくものとする。

④ 河川愛護団体の設置（延岡市）

延岡市の北川地区では、市民に対し、河川への関心を高め、いつまでも美しい流れを守るために、「北川町川を美しくする運動実行委員会」を昭和 57 年から設置し助成を行っている。委員会の主な年間活動としては、毎年 7 月第 1 日曜日を河川一斉清掃とし町内全地区で住民のボランティアによる清掃活動を実施していることから、こうした活動を継続していくものとする。

北浦地区でも、市民に河川の水質汚濁防止意識の向上を図ることを目的に、平成 10 年より三川内中学校の生徒会、内水面漁協等が中心となり、「MKD 作戦（三川内河川大清掃）」と銘打って、毎年 7 月に北川水系の小川等で住民のボランティアによる清掃活動を実施していることから、こうした活動を継続していくものとする。

⑤ 五ヶ瀬川水系水質汚濁防止連絡協議会による活動（本地域全域）

国交省延岡河川国道事務所を中心に、当地域の全市町を含む 3 県 2 市 5 町により構成される協議会により、河川浄化の啓発活動や油流出を想定しての水質事故訓練を行う取り組みを実施しているため、これを継続していくものとする。

(2) 処理体制

【ごみ処理編】

ア. 家庭ごみの処理体制の現状と今後

本地域では、「宮崎県ごみ処理広域化計画」に基づき、ごみ処理の広域化を進めてきており、地域間の分別品目の統一は概ね実施されている。具体的には、現在資源物として、缶類・びん類・古紙（新聞・雑誌・ダンボール）・容器包装リサイクル法対象品目（ペットボトル、その他プラスチック製容器包装）の分別収集を行っている。なお、延岡市では、これらの分別品目に加えて、古布の分別収集も行っている。

家庭ごみの処理体制については自区内処理を原則とし、表-12～13 に示す処理・処分体制としていく方針とする。

なお、第2期計画では平成25年度を目標に延岡市の最終処分場を整備する方針とする。また、宮崎県ごみ処理広域化計画に基づく西臼杵郡内の最終処分場の整備については、次期以降の計画で検討を進めていく方針とする。

イ. 事業系一般廃棄物の処理体制の現状と今後

これまで家庭ごみの分別区分に準じ、直営収集、許可業者収集、個別持込を行ってきたが、平成17年7月より、直営収集を廃止し、許可業者収集及び個別持込のみとした。

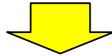
このことにより多量排出事業者のごみの発生抑制、ごみの減量、ごみの資源化や再利用への意識の高揚を図る方針とする。

ウ. 今後の処理体制の要点

- ◇ 地域間の分別品目は概ね統一されているため、これを継続していくものとする。
- ◇ 平成25年度を目標に延岡市の最終処分場の整備を行う。
- ◇ 西臼杵郡内で整備することとなっている最終処分場については、次期以降の計画で検討していく方針とする。
- ◇ 多量排出事業者のごみ排出抑制、ごみの減量、ごみの資源化や再利用への意識の高揚を図る。

表-12 延岡市の家庭ごみの分別区分と処理方法の現状と今後

現 状 (平成20年度)					
分別区分		処理方法	処理施設等		処理実績 (t)
			一次処理	二次処理	
可燃ごみ	可燃ごみ	リサイクル・ 熱回収	延岡市清掃工場	焼却灰:一部民間処理施設 延岡市川島埋立場	31,273
	破碎可燃				
不燃ごみ ・大型ごみ	破碎前・後金属	金属回収	延岡市清掃工場 粗大ごみ処理設備	売却	2,566
	破碎不燃物	破碎・埋立		一部民間処理施設 延岡市川島埋立場	
	埋立ごみ	埋立	延岡市川島埋立場		
資源ごみ	びん・缶	リサイクル	延岡市リサイクルプラザ	容り法適用処理	3,027
	古紙類			売却	
	古布		民間処理施設	容り法適用処理	
	ペットボトル・プラスチック				



今 後 (平成28年度)					
分別区分		処理方法	処理施設等		処理目標 (t)
			一次処理	二次処理	
可燃ごみ	可燃ごみ	リサイクル・ 熱回収	延岡市清掃工場	焼却灰:一部民間処理施設 新最終処分場	24,951
	破碎可燃				
不燃ごみ ・大型ごみ	破碎前・後金属	金属回収	延岡市清掃工場 粗大ごみ処理設備	売却	1,369
	破碎不燃物	破碎・埋立		新最終処分場	
	埋立ごみ	埋立	新最終処分場		
資源ごみ	びん・缶	リサイクル	延岡市リサイクルプラザ	容り法適用処理	4,143
	古紙類			売却	
	古布		民間処理施設	容り法適用処理	
	ペットボトル・プラスチック				

表-13 西臼杵郡衛生組合の家庭ごみの分別区分と処理方法の現状と今後

現 状 (平成20年度)					
分別区分		処理方法	処理施設等		処理実績 (t)
			一次処理	二次処理	
可燃ごみ	可燃ごみ	リサイクル・ 熱回収	延岡市清掃工場	焼却灰:一部民間処理施設 延岡市川島埋立場	3,649
	破碎可燃				
不燃ごみ ・大型ごみ	破碎前・後金属	金属回収	三郷衛生センター	売却	120
	破碎不燃物	破碎・埋立		民間最終処分場	
資源ごみ	びん・缶	リサイクル	三郷衛生センター	容り法適用処理	771
	古紙類			売却	
	ペットボトル・プラスチック		民間処理施設	容り法適用処理	



今 後 (平成28年度)					
分別区分		処理方法	処理施設等		処理目標 (t)
			一次処理	二次処理	
可燃ごみ	可燃ごみ	リサイクル・ 熱回収	延岡市清掃工場	焼却灰:民間処理施設 及び民間最終処分場	3,048
	破碎可燃				
不燃ごみ ・大型ごみ	破碎前・後金属	金属回収	三郷衛生センター	売却	150
	破碎不燃物	破碎・埋立		民間最終処分場	
資源ごみ	びん・缶	リサイクル	三郷衛生センター	容り法適用処理	661
	古紙類			売却	
	ペットボトル・プラスチック		民間処理施設	容り法適用処理	

【生活排水処理編】

ア. 地域の特性に応じた処理施設ごとの生活排水処理施設整備の促進

公共下水道、農業集落排水施設、漁業集落排水施設、合併処理浄化槽はそれぞれ特性があり、事業の採択基準も異なっている。これらの生活排水処理施設については、整備費や維持管理費、耐用年数を考慮し、地形等の自然条件、集落の形成状況等の地域の特性等を踏まえ、効率的に整備していく方針とする。

イ. 施設の維持管理等の推進

施設の維持管理等の推進は下記に示すとおりとする。

- ① 集合処理施設については、適正な維持管理を促進する。
- ② 集合処理施設の維持管理データを整理・蓄積し、計画的かつ効率的な改築・更新を促進する。
- ③ 各処理施設から生じる汚泥は、循環型社会の構築を基本に、適切に処理を行う。
- ④ 集合処理施設においては、処理施設の役割・意義について住民の理解を促し、適正な維持管理が行えるよう、つなぎ込みの促進を図る。
- ⑤ 個人が設置する合併処理浄化槽は、法律に従って、その個人が責任を持って維持管理を行う必要があるが、各自治体は適切な維持管理のための十分な情報提供や啓発活動を行う。

ウ. 処理施設に関する今後の検討課題

生活排水対策は、BODの排出負荷低減を中心として施策を展開しているが、現在BOD負荷を高めている大きな要因は、単独処理浄化槽の存在と考えられる。当地域においても、総人口の約2割、非処理人口の約5割が単独処理浄化槽を使用している状況である。

このため、公共下水道、集落排水の地域においては、つなぎ込みの促進、その他の地域においては合併処理浄化槽への転換を促進することが今後の最重要課題であると考えている。

(3) 処理施設等の整備

ア. 廃棄物処理施設

前述した(2)の処理体制で、本地域のごみを処理するために必要な施設を、表-14に示す。

表-14 整備する処理施設

事業番号	整備施設種類	事業名	処理能力	設置予定地	事業期間
1	最終処分場	(仮称) 延岡市 新最終処分場整備事業	約 155,000m ³ 約 19,000m ²	延岡市北方町笠下 寅1番地1ほか	H22~25

(整備理由)

事業番号1：既存最終処分場の残容量の逼迫

イ. 合併浄化槽の整備

合併浄化槽については、表-15のとおり行う。

表-15 整備する処理施設

事業番号	整備施設種類	直近の整備済み 基数	整備計画 基数	整備計画人口	事業期間
2	浄化槽設置整備事業 (延岡市)	3,393基	402基	1,597人	H23~27
3	浄化槽設置整備事業 (高千穂町)	1,479基	210基	680人	H23~27
4	浄化槽設置整備事業 (日之影町)	544基	100基	300人	H23~27
5	浄化槽設置整備事業 (五ヶ瀬町)	724基	125基	450人	H23~27

(整備理由)

事業番号2：公共用水域の水質保全

事業番号3：公共用水域の水質保全

事業番号4：公共用水域の水質保全

事業番号5：公共用水域の水質保全

(4) その他の施策

その他、地域の循環型社会を形成、及び廃棄物の適正処理を推進するために、以下の施策を実施していく。

ア. 廃家電のリサイクルに関する普及啓発

廃家電のリサイクルは、特定家庭用機器再商品化法に基づき、地域内の指定引取場所において実施している。

特定家庭用機器の対象物の適切な回収、再商品化がなされるよう、地域間の情報交換を密にするとともに、関連団体や小売店などと協力して、普及啓発を行う方針とする。

イ. 不法投棄対策

不法投棄については、産業廃棄物を主管する宮崎県延岡保健所及び高千穂保健所と連携を図りながら、パトロールの強化や街灯の設置などを行い、不法投棄防止を図る。

また、一般廃棄物については各自治体の広報紙やCATVなどを通じて頻繁に啓発を行う。延岡市においては、平成21年1月より夜間のパトロールを民間に委託している。

更に、「延岡・西臼杵地区4R推進協議会」においても、不法投棄防止の看板や車輛進入防止柵等を共同で作成し、各地域の不法投棄のおこりやすい場所に設置する活動を実施していることから、今後も本地域全体で連携を図り、不法投棄防止への取り組みを強化していく方針とする。

ウ. 災害時の廃棄物処理に関する事項

それぞれの市町が策定したマニュアルや今後策定予定の市町村震災廃棄物処理計画等を踏まえ、災害時に発生する廃棄物の広域的処理体制の確保を図るため、地域内及び周辺地域との連携体制を構築する。

また、実際に大規模な災害が発生した場合には、現行の各施設の処理能力では対応が不可能な場合も想定されることから、このことに備えて、災害廃棄物の臨時的な仮置場としての用地を確保して、緊急時に備えることとする。さらに、必要に応じて、委託による処理も検討しておくこととする。

4. 計画のフォローアップと事後評価

(1) 計画のフォローアップ

延岡・西臼杵ブロック地域の市町は、毎年、計画の進捗状況を把握し、その結果を公表するとともに、必要に応じて、延岡・西臼杵ブロック地域各市町、宮崎県及び国と意見交換をしつつ、計画の進捗状況を勘案し、計画の見直しを行うものとする。

(2) 事後評価及び計画の見直し

計画期間終了後、処理状況の把握を行い、その結果が取りまとまった時点で、速やかに計画の事後評価、目標達成状況の評価を行う。

また、評価の結果を公表するとともに、評価結果を次期計画策定に反映させるものとするが、評価結果の公表方法については、今後検討していくものとする。

なお、計画の進捗状況や社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要に応じ計画を見直すものとする。

様式 1

循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表 1 (平成23年度)

1. 地域の概要

(1) 地域名	延岡・西臼杵ブロック	(2) 地域内人口	157,477 人	(3) 地域の面積	1,554.77 km ²
(4) 構成市町村等名	延岡市、高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町	(5) 地域の要件	人口 () 面積 () 沖縄 離島 奄美 豪雪 山村 半島 過疎 その他		
(6) 構成市町村に一部事務組合等が含まれる場合、当該組合の状況	組合名 : 西臼杵郡衛生組合 組合を構成する市町村 : 高千穂町・日之影町・五ヶ瀬町	設立年月日 : 昭和45年2月7日設立 (認可)			

2. 一般廃棄物の減量化、再生利用の現状と目標

指標・単位	年度	過去の状況・現状 (排出量に対する割合)					目標年 平成28年度 (見込み)
		平成17年度 (実績)	平成18年度 (実績)	平成19年度 (実績)	平成20年度 (実績)	平成21年度 (実績)	
人 口		163,302 人	161,691 人	159,858 人	158,717 人	157,477 人	144,751 人
総排出量 (家庭系排出量+事業系排出量+集団回収量) (t)		79,060 t	66,877 t	66,754 t	67,776 t	54,310 t	57,127 t (H20比 -15.7%)
1人1日当たりの排出量 (g/人・日)		1,326 g/人・日	1,133 g/人・日	1,144 g/人・日	1,170 g/人・日	945 g/人・日	1,081 g/人・日
排 出 量	事業系 排出量 (t)	27,990 t	24,467 t	25,390 t	25,266 t	20,077 t	21,655 t (H20比 -14.3%)
	1事業所当たりの排出量 ({排出量-資源ごみ} ÷ 事業所数) (t/事業所)	3.40 t/事業所	2.93 t/事業所	3.01 t/事業所	3.03 t/事業所	2.33 t/事業所	2.53 t/事業所
	家庭系 排出量 (家庭系ごみ-資源回収量-自家処理量) (t)	49,923 t	41,293 t	40,261 t	41,406 t	32,983 t	34,322 t (H20比 -17.1%)
	資源化量 (家庭系資源ごみ) (t)	2,817 t	4,051 t	3,896 t	3,797 t	4,856 t	4,804 t
	1人当たりの排出量 ({排出量-資源ごみ} ÷ 人口 × 10 ³) (kg/人)	288 kg/人	230 kg/人	227 kg/人	237 kg/人	179 kg/人	204 kg/人
再 生 利 用 量	直接資源化量 (t)	628 t (0.79%)	927 t (1.39%)	1,314 t (1.97%)	1,157 t (1.71%)	1,647 t (3.03%)	1,657 t (2.90%)
	総資源化量 (集団回収量含む) (t)	7,660 t (9.69%)	9,700 t (14.50%)	11,581 t (17.35%)	10,978 t (16.20%)	11,380 t (20.95%)	9,742 t (17.05%)
集 団 回 収 量	集団回収量 (t)	1,147 t (1.45%)	1,117 t (1.67%)	1,103 t (1.65%)	1,104 t (1.63%)	1,250 t (2.30%)	1,150 t (2.01%)
熱 回 収 量	熱回収量 (年間の発電電力量 kWh)	***	***	***	***	***	13,516 MWh
中 間 処 理 に よ る 減 量 化 量	減量化量 (中間処理前後の差 t)	55,172 t (69.78%)	47,074 t (70.39%)	46,864 t (70.20%)	48,806 t (72.01%)	37,749 t (69.51%)	40,832 t (71.48%)
最 終 処 分 量	最終処分量 (t)	16,228 t (20.53%)	10,103 t (15.11%)	8,309 t (12.45%)	7,992 t (11.79%)	5,181 t (9.54%)	6,553 t (11.47%)

3. 一般廃棄物処理施設の現況と更新、廃止、新設の予定

施設種別	事業主体	現有施設の内容				更新、廃止、新設の内容					備 考
		型式及び処理方式	補助の有無	処理能力 (単位)	開始年月	更新、廃止 予定年月	更新、廃止、 新設の理由	型式及び 処理方式	施設竣工 予定年月	処理能力 (単位)	
熱回収施設	延岡市	全連続燃焼方式 : ストーカ炉	有	218 t/日	H21年4月						
粗大ごみ処理施設	延岡市	破碎・圧縮装置	有	40 t/5h	昭和60年3月						
リサイクルセンター	延岡市	ストックヤード 圧縮装置 (缶・古紙)	有	30 t/5h	平成8年12月						
	西臼杵郡衛生組合	圧縮装置 (缶)	無	0.9 t/5h	平成14年12月						
	西臼杵郡衛生組合	破碎機 (びん)	無	1.9 t/5h	平成14年12月						
廃棄物運搬・中間処理施設	西臼杵郡衛生組合	圧縮装置 (ごみ)	無	17 t/5h	平成14年12月						
最終処分場	延岡市	管理型	有	644,500 m ³	昭和55年5月	平成26年3月	埋立完了	管理型	平成26年3月	155,000 m ³	
し尿処理施設	延岡市	嫌気性消化方式	有	165 kL/日	平成3年4月						
	西臼杵郡衛生組合	標準脱窒素方式	有	40 kL/日	平成9年4月						

様式 1

循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表 1 (平成 23 年度)

4. 生活排水処理の現状と目標

指標・単位	年度	過去の状況・現状					目標年 平成28年度 (見込み)
		平成17年度 (実績)	平成18年度 (実績)	平成19年度 (実績)	平成20年度 (実績)	平成21年度 (実績)	
総人口		163,302 人	161,691 人	159,858 人	158,717 人	157,477 人	144,751 人
公 共 下 水 道	污水衛生処理人口	81,053 人	84,299 人	86,927 人	87,887 人	89,116 人	90,051 人
	污水衛生処理率又は污水処理人口普及率	49.6%	52.1%	54.4%	55.4%	56.6%	62.2%
農 業 集 落 排 水 施 設 等	污水衛生処理人口	7,430 人	7,298 人	7,252 人	7,329 人	6,887 人	6,887 人
	污水衛生処理率又は污水処理人口普及率	4.5%	4.5%	4.5%	4.6%	4.4%	4.8%
合 併 処 理 浄 化 槽 等	污水衛生処理人口	27,094 人	27,945 人	28,664 人	29,644 人	28,696 人	32,905 人
	污水衛生処理率又は污水処理人口普及率	16.6%	17.3%	17.9%	18.7%	18.2%	22.7%
未 処 理 人 口	污水衛生未処理人口	47,725 人	42,149 人	37,015 人	33,857 人	32,778 人	14,908 人

5. 浄化槽の整備の状況と更新、廃止、新設の予定

施設種別	事業主体	現有施設の内容 (平成21年度)			整備予定基数の内容			備 考
		基数 (基)	処理人口 (人)	開始年	基数 (基)	処理人口 (人)	計画期間最終年	
浄化槽設置整備事業	延岡市	3,393	16,568	平成3年4月	402	1,597	平成27年度	—
	高千穂町	1,479	6,262	平成5年	210	680	平成27年度	—
	日之影町	544	2,208	平成2年	100	300	平成27年度	—
	五ヶ瀬町	724	3,658	平成3年4月	125	450	平成27年度	—

様式 2

循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表 2 (平成 23 年度)

事業種別	事業番号	事業主体	規 模		事業期間		総事業費 (千円)					交付対象事業費 (千円)					備考		
			事業名称	単位	開始	終了	H23	H24	H25	H26	H27	H23	H24	H25	H26	H27			
○新最終処分場に関する事業		延岡市	155,000 19,000	m3 m2	22	25	4,765,000	1,917,000	1,755,000	1,093,000			3,257,000	1,345,000	1,195,900	716,100			
	1	延岡市	155,000 19,000	m3 m2	23	25	4,578,000	1,730,000	1,755,000	1,093,000			3,107,900	1,195,900	1,195,900	716,100			
		延岡市	155,000 19,000	m3 m2	22	22	187,000	187,000					149,100	149,100					
○浄化槽に関する事業			837	基	23	27	338,086	71,198	70,452	65,976	65,230	65,230	319,036	67,388	66,642	62,166	61,420	61,420	
	2	延岡市	402	基	23	27	151,956	33,972	33,226	28,750	28,004	28,004	151,956	33,972	33,226	28,750	28,004	28,004	
	3	高千穂町	210	基	23	27	80,080	16,016	16,016	16,016	16,016	16,016	80,080	16,016	16,016	16,016	16,016	16,016	
	4	日之影町	100	基	23	27	56,350	11,270	11,270	11,270	11,270	11,270	37,300	7,460	7,460	7,460	7,460	7,460	
	5	五ヶ瀬町	125	基	23	27	49,700	9,940	9,940	9,940	9,940	9,940	49,700	9,940	9,940	9,940	9,940	9,940	
合計 (総事業費 : 繰越額含む)							5,103,086	1,988,198	1,825,452	1,158,976	65,230	65,230	3,576,036	1,412,388	1,262,542	778,266	61,420	61,420	
合計 (第2期分事業費 : 第1期分の繰越額除く)							4,916,086	1,801,198	1,825,452	1,158,976	65,230	65,230	3,426,936	1,263,288	1,262,542	778,266	61,420	61,420	

地域の循環型社会形成推進のための施策一覧（ごみ処理編）

施策の種別	事業番号	施策の名称等	施策の概要	実施主体	事業期間		交付金 必要の 要否	事業計画					備 考
					交付期間			平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
					開始	終了							
発生抑制、再使用の推進に関するもの	6	ごみ処理の有料化	平成21年4月より実施しており、今後の減量化の傾向を確認していくものとする。	延岡市	H23	継続	-	施策を継続実施					
	7	ごみ減量の普及啓発	①住民説明会の実施 ②ごみ減量十か条の啓発推進 ③各種イベントでの啓発 ④ごみ減量功労者の表彰	①本地域全域 ②本地域全域 ③本地域全域 ④延岡市	H23	継続	-	施策を継続実施					
	8	環境教育の推進	①夏休みごみ体験ツアーの実施 ②施設見学会の実施 ③ごみ減量ポスターコンクールの実施	①延岡市 ②本地域全域 ③延岡市	H23	継続	-	施策を継続実施					
	9	市民団体との連携	①各種団体における活動の推進・連携 ②市民団体との協働活動	①本地域全域 ②延岡市	H23	継続	-	施策を継続実施					
	10	CATV・広報紙を活用した情報の提供	地元のCATVや市広報紙で定期的に情報提供を行う。また、施設立地周辺の地区住民向けに情報紙を発行し、情報公開に努めるとともに、共存共栄を図る。	延岡市	H23	継続	-	施策を継続実施					
	11	市民や事業者による資源化の推進	①集団回収への助成 ②生ごみ処理機器の購入への助成 ③オフィス町内会事業の拡大 ④事業系生ごみの資源化 ⑤ごみ処理集積所設置に対する助成 ⑥ごみ集積所の維持管理に対する補助金	①延岡市 ②延岡市・日之影町 ③本地域全域 ④本地域全域 ⑤延岡市・高千穂町・日之影町 ⑥延岡市	H23	継続	-	施策を継続実施					
処理体制の構築、変更に関するもの	12	家庭ごみの処理体制の現状と今後	新たに分別を開始したペットボトルやプラスチック類の分別の徹底に向けた啓発を実施する。	本地域全域	H23	継続	-	施策を継続実施					
	13	事業系一般廃棄物の現状と今後	多量排出事業者のごみの発生抑制、減量化、資源化及び再利用者への意識高揚を図る。	延岡市	H23	継続	-	施策を継続実施					
処理施設の整備に関するもの	1	最終処分場整備		延岡市	H22	H25	○	建設工事					
その他	14	廃家電リサイクルに関する普及啓発	廃家電リサイクル法に基づく処理の普及・啓発	本地域全域	H23	継続	-	施策を継続実施					
	15	不法投棄対策	パトロールの強化及び普及啓発、更に「延岡・西臼杵地区4R推進協議会」による看板の設置や防止柵の設置などの取り組みの強化	本地域全域	H23	継続	-	施策を継続実施					
	16	災害時の廃棄物処理に関する事項	災害マニュアルや震災廃棄物処理計画等を踏まえた体制整備	本地域全域	H23	継続	-	施策を継続実施					

施設概要（最終処分場系）

都道府県名：宮崎県

(1) 事業主体名	延岡市		
(2) 施設名称	(仮称) 延岡市新最終処分場		
(3) 工期	平成 22 年度 ~ 平成 25 年度		
(4) 処分場面積、容積	総面積 100,000 m ²	埋立面積 19,000 m ²	埋立容量 155,000 m ³
(5) 処分開始年度及び終了年度	埋立開始 平成26年度 埋立終了 平成40年度		
(6) 跡地利用計画	未定		
(7) 地域計画内の役割	焼却灰、破碎不燃物、直接埋立ごみの適正な処理		
(8) 廃焼却施設解体工事の有無	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>		
(9) 事業計画額			
総事業費	4,765,000 千円		
内：平成22年度繰越分	187,000 千円		
第2期分事業費	<hr/> 4,578,000 千円		

施設概要（浄化槽系）

都道府県名 宮崎県

(1) 事業主体名	延岡市
(2) 事業名称	浄化槽設置整備事業
(3) 事業の実施目的及び内容	水環境の保全を含めた循環型社会型社会の実現を目指して浄化槽の整備を進めるとともに、様々な機会を通して住民啓発に取り組む。
(4) 事業期間	平成 23 年度～ 平成 27 年度
(5) 事業対象地域の要件	延岡・西臼杵ブロック：人口・面積の要件に該当
(6) 事業計画額	交付対象事業費 151,956 千円 うち（以下の事業を実施する場合） ・低炭素社会対応型浄化槽整備推進事業に係る事業費 千円 ・浄化槽整備区域促進特別モデル事業に係る事業費 千円

○ 事業計画額の内訳及び浄化槽の整備規模

【浄化槽設置整備事業の場合】

区 分	交付対象基数 (1,597 人分)	うち 単独撤去	基準額	対象経費 支出予定額	交付対象 事業費
5 人槽	201 基 (663 人分)	53 基	66,732	66,732	66,732
6 ～ 7 人槽	186 基 (849 人分)	44 基	77,004	77,004	77,004
8 ～ 10 人槽	15 基 (85 人分)	0 基	8,220	8,220	8,220
11 ～ 20 人槽	0 基 (0 人分)	0 基	0	0	0
21 ～ 30 人槽	0 基 (0 人分)	0 基	0	0	0
31 ～ 50 人槽	0 基 (0 人分)	0 基	0	0	0
51 人槽以上	0 基 (0 人分)	0 基	0	0	0
改 築	0 基	基			
計画策定調査費					
合 計	402 基 (1,597 人分) 改築を除く	97 基	151,956	151,956	151,956

【市町村設置型浄化槽整備事業の場合】

区 分	交付対象基数 (人分)	うち 単独撤去	基準額	対象経費 支出予定額	交付対象 事業費
5 人槽	基 (人分)	基			
6 ～ 7 人槽	基 (人分)	基			
8 ～ 10 人槽	基 (人分)	基			
11 ～ 15 人槽	基 (人分)	基			
16 ～ 20 人槽	基 (人分)	基			
21 ～ 25 人槽	基 (人分)	基			
26 ～ 30 人槽	基 (人分)	基			
31 ～ 40 人槽	基 (人分)	基			
41 ～ 50 人槽	基 (人分)	基			
事務費等					
合 計	基 (人分)	基			

○ 事業対象地域が「経済的・効率的である地域」の場合の経済性・効率性の比較

（複数の地区が該当する場合は、当該地区ごとに下表を添付すること）

市町村総人口： _____ 市町村世帯数： _____
 対象地域人口： _____ 対象地域世帯数： _____

	総建設費	1年当たり 建設費	1年当たり 維持管理費	1年当たり コスト
集合処理で整備した場合				
個別処理で整備した場合				

施設比較検討の積算内容資料を添付（様式は自由）

施設概要（浄化槽系）

都道府県名 宮崎県

(1) 事業主体名	高千穂町
(2) 事業名称	浄化槽設置整備事業
(3) 事業の実施目的及び内容	浄化槽を整備することで、生活排水対策を円滑に推進する。
(4) 事業期間	平成 23 年度～ 平成 27 年度
(5) 事業対象地域の要件	延岡・西臼杵ブロック：人口・面積の要件に該当
(6) 事業計画額	交付対象事業費 80,080 千円 うち（以下の事業を実施する場合） ・低炭素社会対応型浄化槽整備推進事業に係る事業費 千円 ・浄化槽整備区域促進特別モデル事業に係る事業費 千円

○ 事業計画額の内訳及び浄化槽の整備規模

【浄化槽設置整備事業の場合】

区 分	交付対基数 (680 人分)	うち 単独撤去	基準額	対象経費 支出予定額	交付対象 事業費
5 人槽	100 基 (200 人分)	0 基	33,200	33,200	33,200
6 ～ 7 人槽	100 基 (400 人分)	0 基	41,400	41,400	41,400
8 ～ 10 人槽	10 基 (80 人分)	0 基	5,480	5,480	5,480
11 ～ 20 人槽	0 基 (0 人分)	0 基	0	0	0
21 ～ 30 人槽	0 基 (0 人分)	0 基	0	0	0
31 ～ 50 人槽	0 基 (0 人分)	0 基	0	0	0
51 人槽以上	0 基 (0 人分)	0 基	0	0	0
改 築	0 基	基			
計画策定調査費					
合 計	210 基 (680 人分) 改築を除く	0 基	80,080	80,080	80,080

【市町村設置型浄化槽整備事業の場合】

区 分	交付対基数 (人分)	うち 単独撤去	基準額	対象経費 支出予定額	交付対象 事業費
5 人槽	基 (人分)	基			
6 ～ 7 人槽	基 (人分)	基			
8 ～ 10 人槽	基 (人分)	基			
11 ～ 15 人槽	基 (人分)	基			
16 ～ 20 人槽	基 (人分)	基			
21 ～ 25 人槽	基 (人分)	基			
26 ～ 30 人槽	基 (人分)	基			
31 ～ 40 人槽	基 (人分)	基			
41 ～ 50 人槽	基 (人分)	基			
事務費等					
合 計	基 (人分)	基			

○ 事業対象地域が「経済的・効率的である地域」の場合の経済性・効率性の比較

（複数の地区が該当する場合は、当該地区ごとに下表を添付すること）

市町村総人口： _____ 市町村世帯数： _____
 対象地域人口： _____ 対象地域世帯数： _____

	総建設費	1年当たり 建設費	1年当たり 維持管理費	1年当たり コスト
集合処理で整備した場合				
個別処理で整備した場合				

施設比較検討の積算内容資料を添付（様式は自由）

施設概要（浄化槽系）

都道府県名 宮崎県

(1) 事業主体名	日之影町
(2) 事業名称	浄化槽設置整備事業
(3) 事業の実施目的及び内容	生活排水による水質汚濁防止
(4) 事業期間	平成 23 年度～ 平成 27 年度
(5) 事業対象地域の要件	延岡・西臼杵ブロック：人口・面積の要件に該当
(6) 事業計画額	交付対象事業費 37,300 千円 うち（以下の事業を実施する場合） ・低炭素社会対応型浄化槽整備推進事業に係る事業費 千円 ・浄化槽整備区域促進特別モデル事業に係る事業費 千円

○ 事業計画額の内訳及び浄化槽の整備規模

【浄化槽設置整備事業の場合】

区 分	交付対象基数 (300 人分)	うち 単独撤去	基準額	対象経費 支出予定額	交付対象 事業費
5 人槽	50 基 (100 人分)	0 基	16,600	24,150	16,600
6 ～ 7 人槽	50 基 (200 人分)	0 基	20,700	32,200	20,700
8 ～ 10 人槽	0 基 (0 人分)	0 基	0	0	0
11 ～ 20 人槽	0 基 (0 人分)	0 基	0	0	0
21 ～ 30 人槽	0 基 (0 人分)	0 基	0	0	0
31 ～ 50 人槽	0 基 (0 人分)	0 基	0	0	0
51 人槽以上	0 基 (0 人分)	0 基	0	0	0
改 築	0 基	基			
計画策定調査費					
合 計	100 基 (300 人分) 改築を除く	0 基	37,300	56,350	37,300

【市町村設置型浄化槽整備事業の場合】

区 分	交付対象基数 (人分)	うち 単独撤去	基準額	対象経費 支出予定額	交付対象 事業費
5 人槽	基 (人分)	基			
6 ～ 7 人槽	基 (人分)	基			
8 ～ 10 人槽	基 (人分)	基			
11 ～ 15 人槽	基 (人分)	基			
16 ～ 20 人槽	基 (人分)	基			
21 ～ 25 人槽	基 (人分)	基			
26 ～ 30 人槽	基 (人分)	基			
31 ～ 40 人槽	基 (人分)	基			
41 ～ 50 人槽	基 (人分)	基			
事務費等					
合 計	基 (人分)	基			

○ 事業対象地域が「経済的・効率的である地域」の場合の経済性・効率性の比較

（複数の地区が該当する場合は、当該地区ごとに下表を添付すること）

市町村総人口： _____ 市町村世帯数： _____
 対象地域人口： _____ 対象地域世帯数： _____

	総建設費	1年当たり 建設費	1年当たり 維持管理費	1年当たり コスト
集合処理で整備した場合				
個別処理で整備した場合				

施設比較検討の積算内容資料を添付（様式は自由）

施設概要（浄化槽系）

都道府県名 宮崎県

(1) 事業主体名	五ヶ瀬町
(2) 事業名称	浄化槽設置整備事業
(3) 事業の実施目的及び内容	既に単独浄化槽を設置している家庭には合併処理浄化槽への切り替えを促進し、また、合併処理浄化槽を設置している家庭には、適正な維持管理がなされるよう指導を強化し、五ヶ瀬川の源流に位置する住民としての役割を果たし、環境保全に努める。
(4) 事業期間	平成 23 年度～ 平成 27 年度
(5) 事業対象地域の要件	延岡・西臼杵ブロック：人口・面積の要件に該当
(6) 事業計画額	交付対象事業費 49,700 千円 うち（以下の事業を実施する場合） ・低炭素社会対応型浄化槽整備推進事業に係る事業費 千円 ・浄化槽整備区域促進特別モデル事業に係る事業費 千円

○ 事業計画額の内訳及び浄化槽の整備規模

【浄化槽設置整備事業の場合】

区 分	交付対象基数 (450 人分)	うち 単独撤去	基準額	対象経費 支出予定額	交付対象 事業費
5 人槽	25 基 (50 人分)	0 基	8,300	8,300	8,300
6 ～ 7 人槽	100 基 (400 人分)	0 基	41,400	41,400	41,400
8 ～ 10 人槽	0 基 (0 人分)	0 基	0	0	0
11 ～ 20 人槽	0 基 (0 人分)	0 基	0	0	0
21 ～ 30 人槽	0 基 (0 人分)	0 基	0	0	0
31 ～ 50 人槽	0 基 (0 人分)	0 基	0	0	0
51 人槽以上	0 基 (0 人分)	0 基	0	0	0
改 築	0 基	基			
計画策定調査費					
合 計	125 基 (450 人分) 改築を除く	0 基	49,700	49,700	49,700

【市町村設置型浄化槽整備事業の場合】

区 分	交付対象基数 (人分)	うち 単独撤去	基準額	対象経費 支出予定額	交付対象 事業費
5 人槽	基 (人分)	基			
6 ～ 7 人槽	基 (人分)	基			
8 ～ 10 人槽	基 (人分)	基			
11 ～ 15 人槽	基 (人分)	基			
16 ～ 20 人槽	基 (人分)	基			
21 ～ 25 人槽	基 (人分)	基			
26 ～ 30 人槽	基 (人分)	基			
31 ～ 40 人槽	基 (人分)	基			
41 ～ 50 人槽	基 (人分)	基			
事務費等					
合 計	基 (人分)	基			

○ 事業対象地域が「経済的・効率的である地域」の場合の経済性・効率性の比較

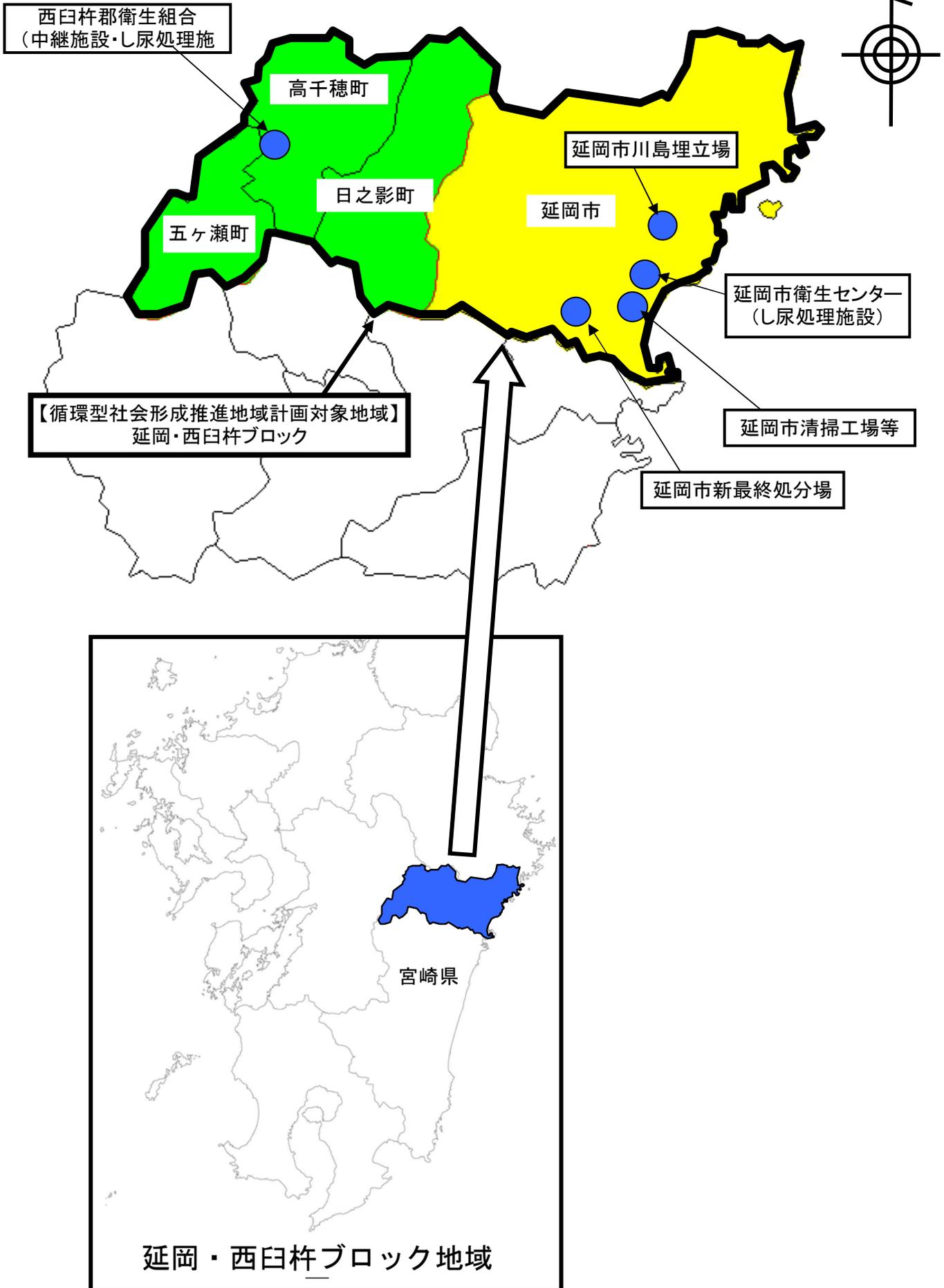
（複数の地区が該当する場合は、当該地区ごとに下表を添付すること）

市町村総人口： _____ 市町村世帯数： _____
 対象地域人口： _____ 対象地域世帯数： _____

	総建設費	1年当たり 建設費	1年当たり 維持管理費	1年当たり コスト
集合処理で整備した場合				
個別処理で整備した場合				

施設比較検討の積算内容資料を添付（様式は自由）

■ 添付資料1 対象地域図



■ 添付資料2 一般廃棄物等の処理の現状と目標の設定

減量化、再生利用に関する現状と目標

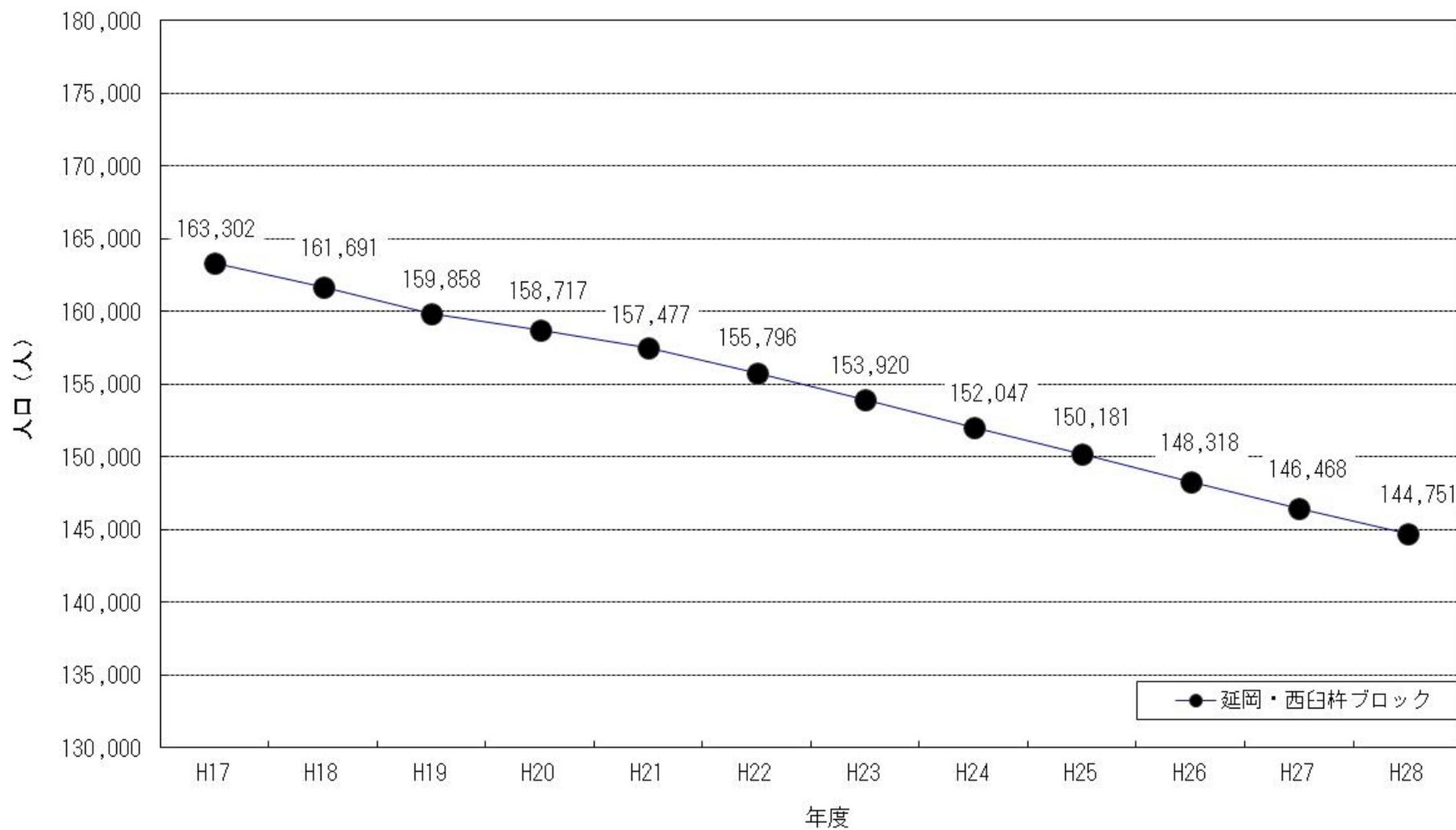
指 標 ・ 単 位		H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
		実績	実績	実績	実績	実績	目標						
排出量	事業系 総排出量 [トン]	27,990	24,467	25,390	25,266	20,077	21,663	21,622	21,633	21,640	21,644	21,651	21,655
	1事業所当たりの排出量 [トン/事業所]	3.40	2.93	3.01	3.03	2.33	2.54	2.53	2.53	2.53	2.53	2.53	2.53
	家庭系 総排出量 [トン]	49,923	41,293	40,261	41,399	32,983	35,227	34,757	34,677	34,597	34,515	34,430	34,322
	1人当たりの排出量 [kg/人]	288	230	227	237	179	195	194	196	198	200	202	204
	合計 事業系家庭系排出量合計 [トン]	77,913	65,760	65,651	66,665	53,060	56,890	56,379	56,310	56,237	56,159	56,081	55,977
再生利用量	直接資源化量 [トン]	628	927	1,314	1,157	1,647	1,653	1,653	1,653	1,653	1,657	1,657	1,657
	総資源化量 [トン]	7,660	9,700	11,581	10,978	11,380	11,600	11,614	11,578	11,530	9,812	9,768	9,742
	熱回収量（年間の発電電力量） [MWh]	—	—	—	—	—	13,738	13,701	13,664	13,627	13,590	13,553	13,517
減量化量	中間処理による減量化量 [トン]	55,172	47,074	46,864	48,799	37,749	41,355	41,024	40,998	40,973	40,948	40,912	40,832
最終処分量	最終処分量 [トン]	16,228	10,103	8,309	7,992	5,181	5,172	4,964	4,942	4,928	6,578	6,565	6,553
集団回収量	集団回収量 [トン]	1,147	1,117	1,103	1,104	1,250	1,237	1,223	1,208	1,194	1,179	1,164	1,150

生活排水に関する現状と目標

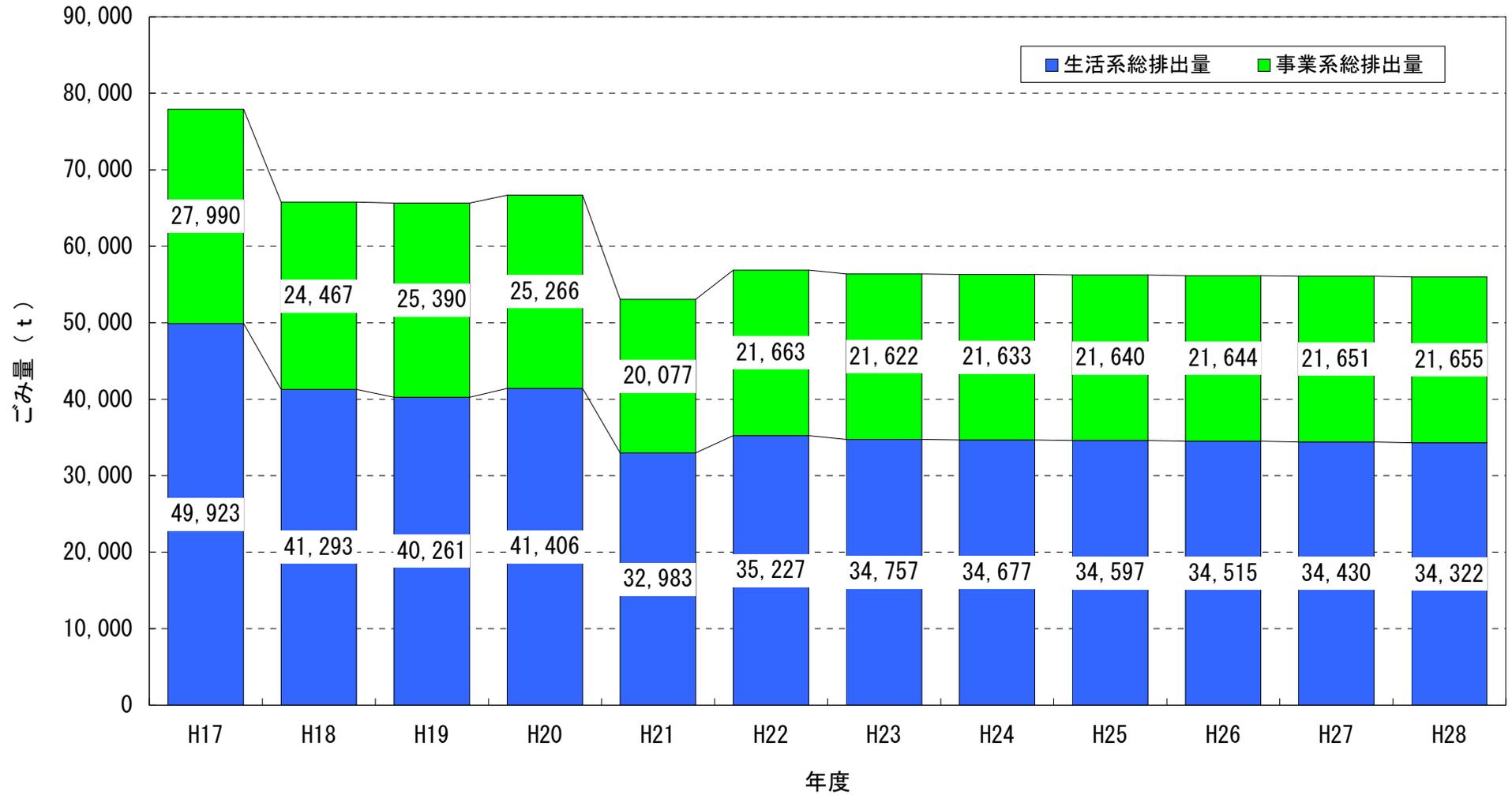
指 標 ・ 単 位		H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
		実績	実績	実績	実績	実績	目標						
汚水衛生 処理人口	公共下水道人口 [人]	81,053	84,299	86,927	87,887	89,116	89,268	89,420	89,573	89,725	89,877	90,030	90,051
	農業集落排水等人口 [人]	7,430	7,298	7,252	7,329	6,887	6,887	6,887	6,887	6,887	6,887	6,887	6,887
	合併処理浄化槽人口 [人]	27,094	27,945	28,664	29,644	28,696	29,464	30,117	30,761	31,345	31,918	32,491	32,905
	単独処理浄化槽人口 [人]	26,983	23,035	19,683	17,990	18,447	16,933	15,431	13,936	12,481	11,035	9,595	7,914
	し尿汲み取り人口 [人]	20,399	19,114	17,332	15,867	14,321	13,244	12,065	10,890	9,743	8,601	7,465	6,994
	自家処理人口 [人]	343	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0
	合計 処理対象人口 [人]	163,302	161,691	159,858	158,717	157,477	155,796	153,920	152,047	150,181	148,318	146,468	144,751
し尿・汚泥 処理量	し尿量 総排出量 [kL]	12,907	11,948	11,085	9,690	8,875	8,213	7,479	6,745	6,029	5,312	4,603	4,366
	浄化槽汚泥 総排出量 [kL]	34,517	32,127	31,319	34,576	33,517	32,938	32,339	31,737	31,124	30,504	29,890	29,163
	合計 し尿・汚泥量の排出量合計 [kL]	47,424	44,075	42,404	44,266	42,392	41,151	39,818	38,482	37,153	35,816	34,493	33,529

■添付資料3 人口及び一般廃棄物に関するトレンドグラフ

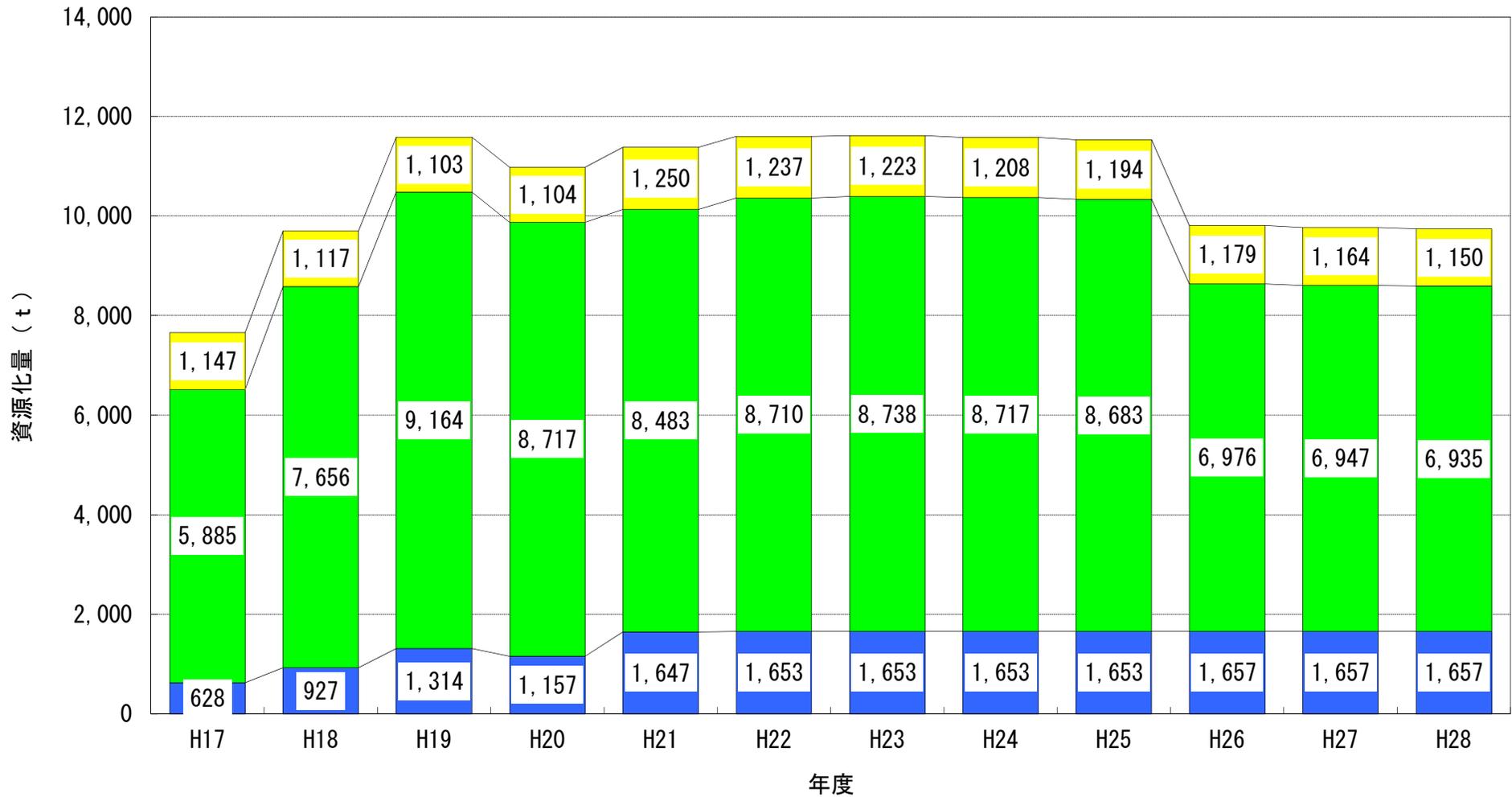
行政区域内人口の推移



ごみ排出量の推移

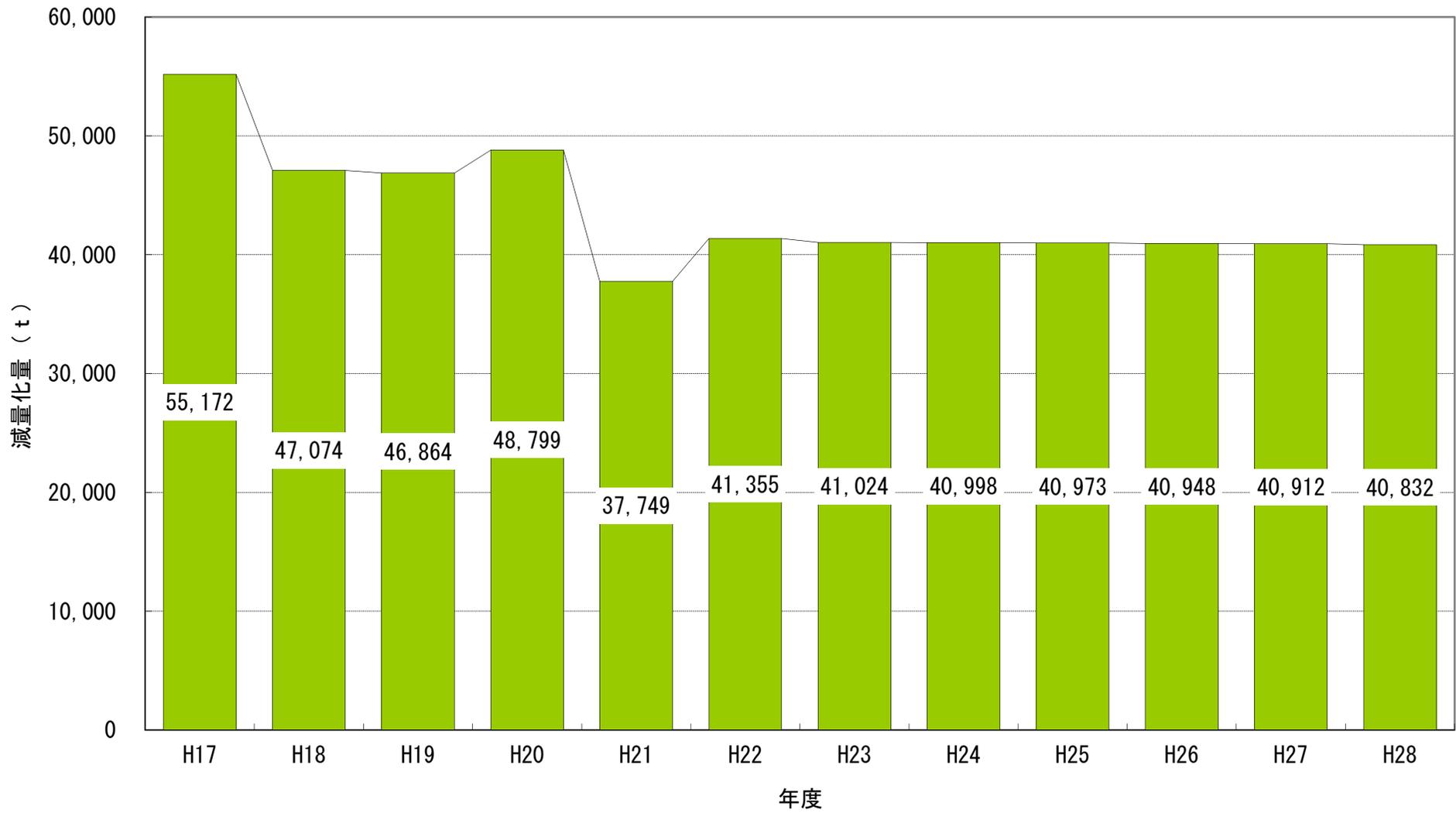


再生利用量の推移

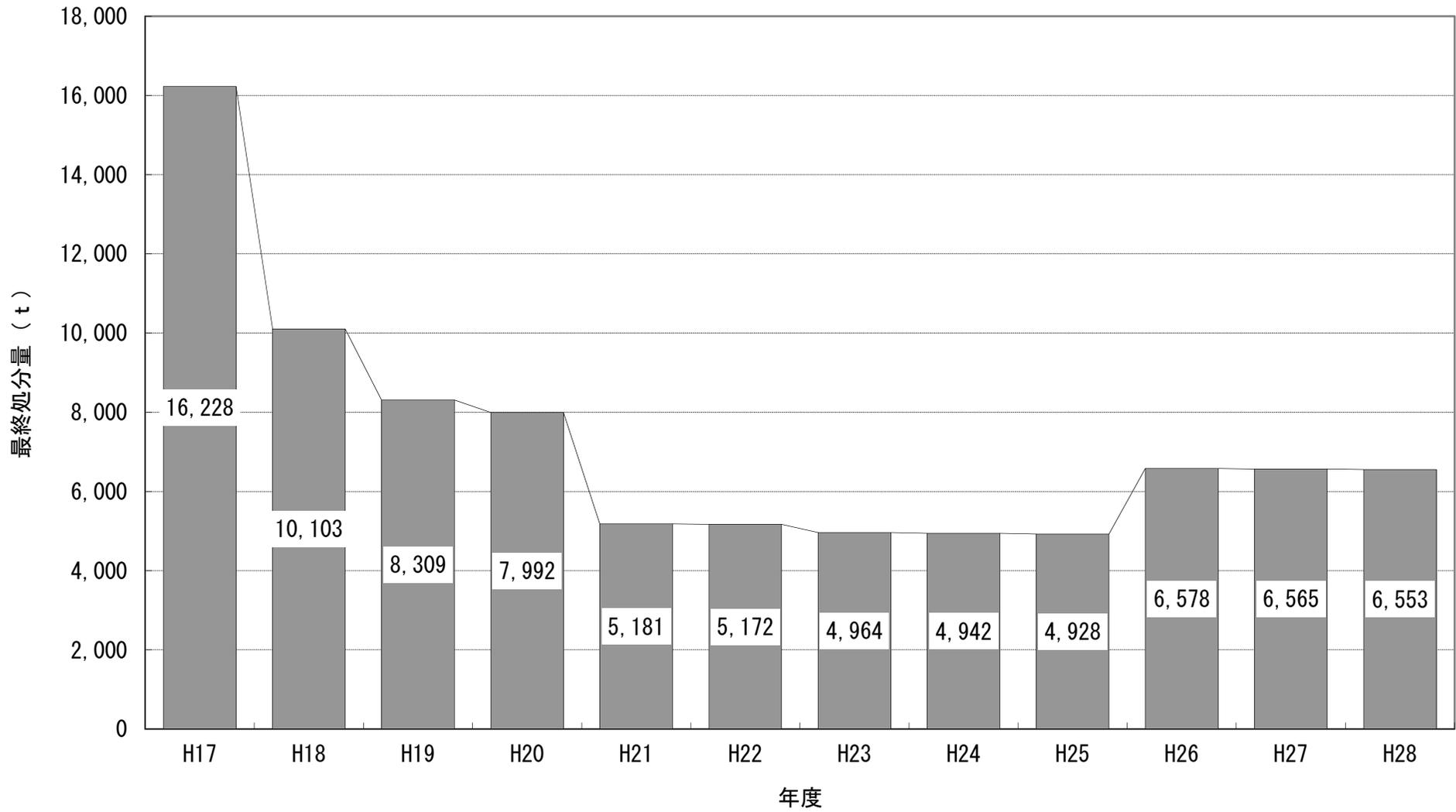


■ 直接資源化量 ■ 処理後資源化量 ■ 資源回収量等

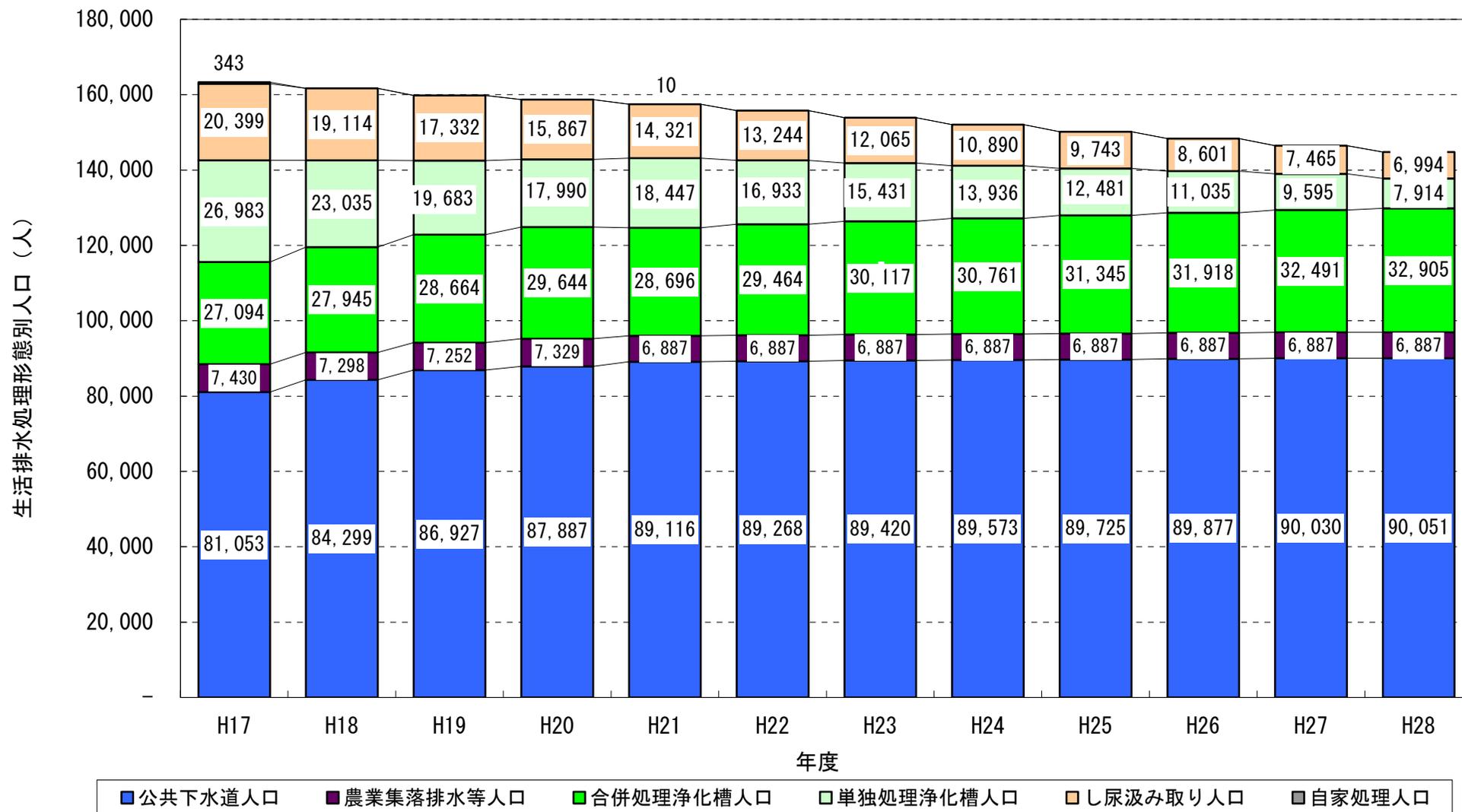
中間処理による減量化量の推移



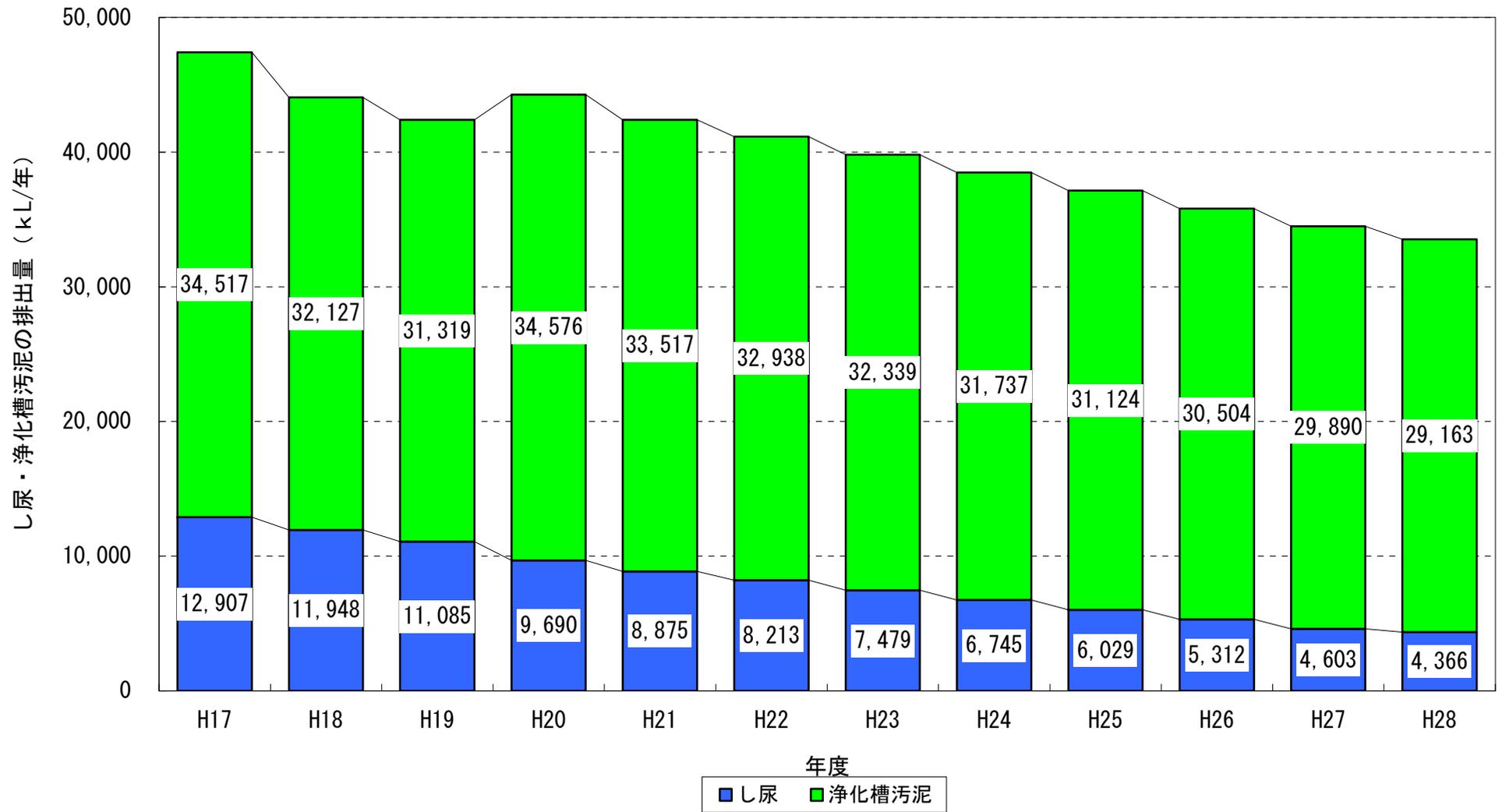
最終処分量の推移



生活排水処理形態別人口の推移



し尿等排出量の推移





リフレッシュのべおか出前講座 【P9 イ①】



延岡アースデイ 【P10 イ③】



のぼりざるフェスタ【P10 イ③】



サウンドビーチすみえ【P10 イ③】



九保祭（九州保健福祉大学）学園祭 【P10 イ③】



ごみ減量功労者の表彰 【P10 イ④】



夏休みごみ体験ツアーの実施 【P11 ウ①】



ごみ減量ポスターコンクールの実施 【P11 ウ③】



延岡市ごみ減量化対策懇話会 【P11 エ①】



小中学生による水生生物調査 【P15 イ①】



水辺の自然保護の看板設置 【P15 イ③】



河川愛護団体の設置 【P16 イ④】



五ヶ瀬川水系水質汚濁防止連絡協議会による活動 【P16 イ⑤】

第2期計画の基礎資料

《一般廃棄物等及び生活排水処理の現状と目標値》

(1) 一般廃棄物等の処理の状況

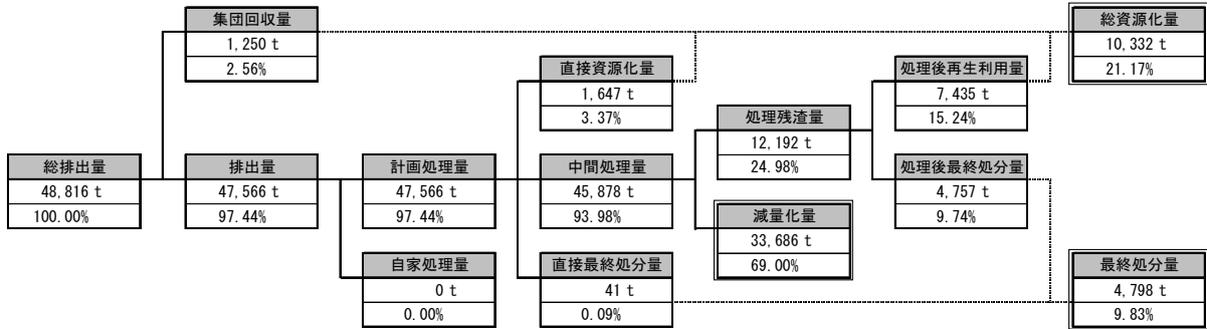


図-1 延岡市の一般廃棄物の処理状況フロー（平成21年度実績）

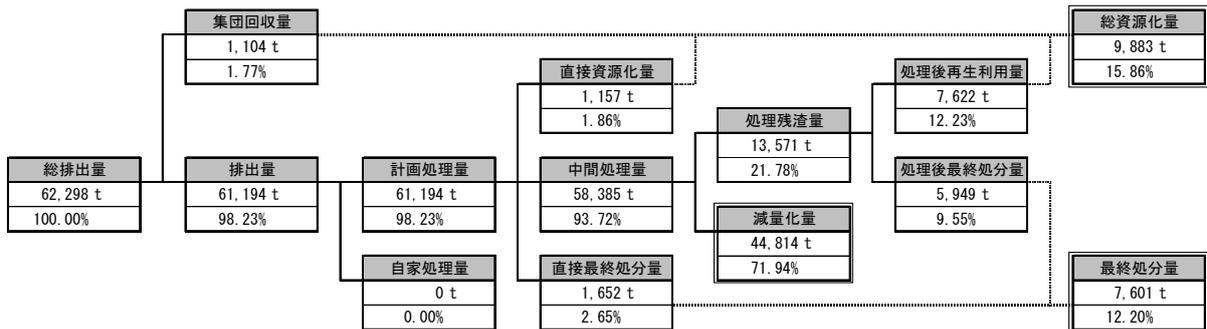


図-2 延岡市の一般廃棄物の処理状況フロー（平成20年度実績）

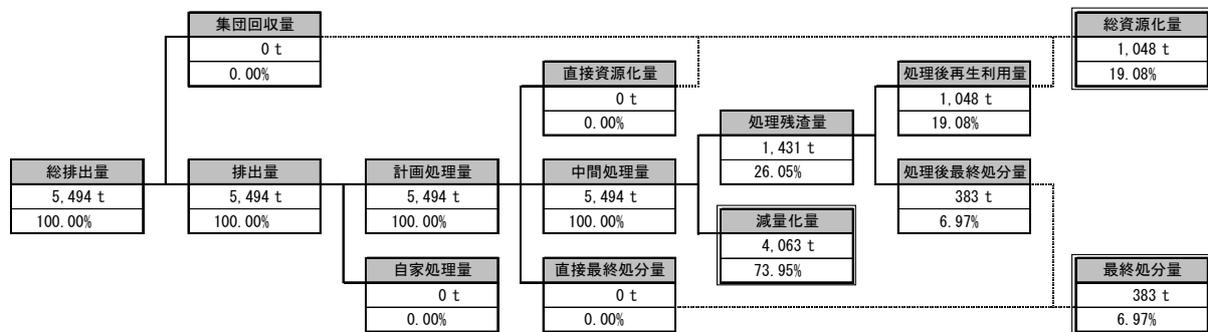


図-3 西臼杵郡衛生組合の一般廃棄物の処理状況フロー（平成21年度実績）

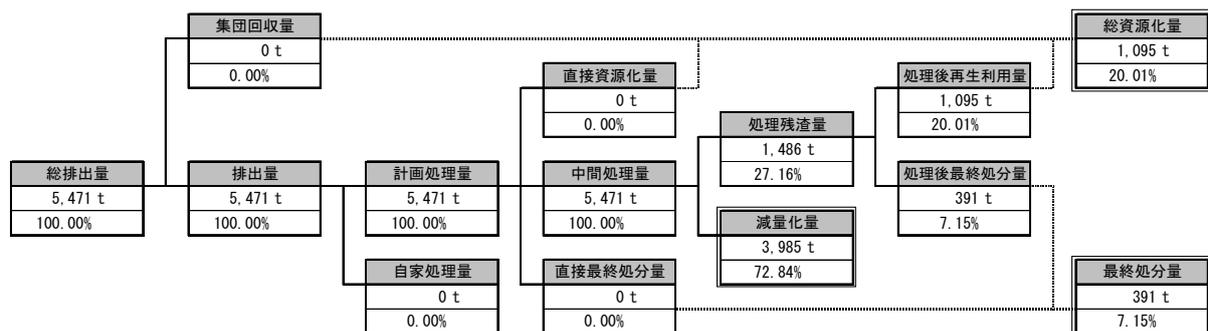


図-4 西臼杵郡衛生組合の一般廃棄物の処理状況フロー（平成20年度実績）

(2) 生活排水処理の状況

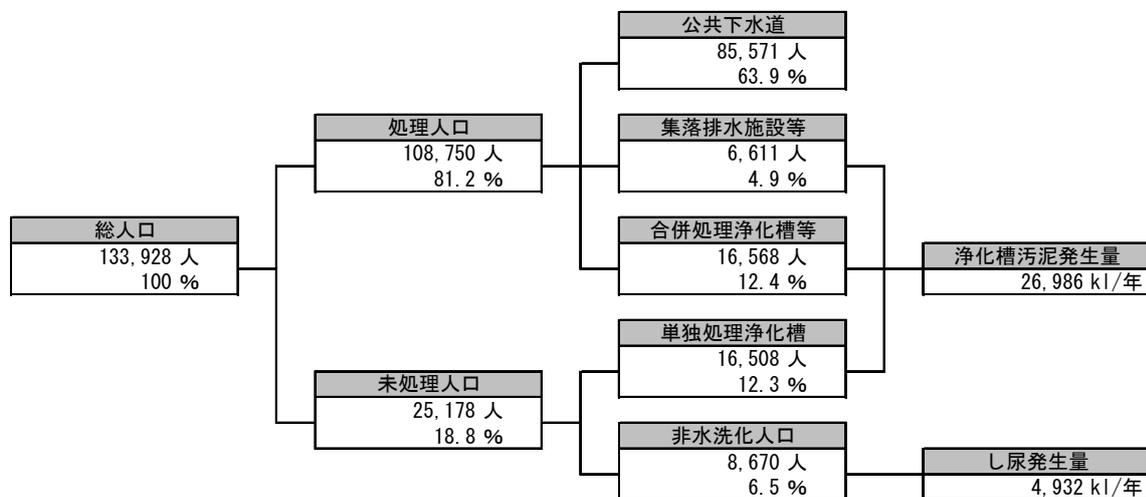


図-5 延岡市の生活排水処理状況フロー（平成21年度実績）

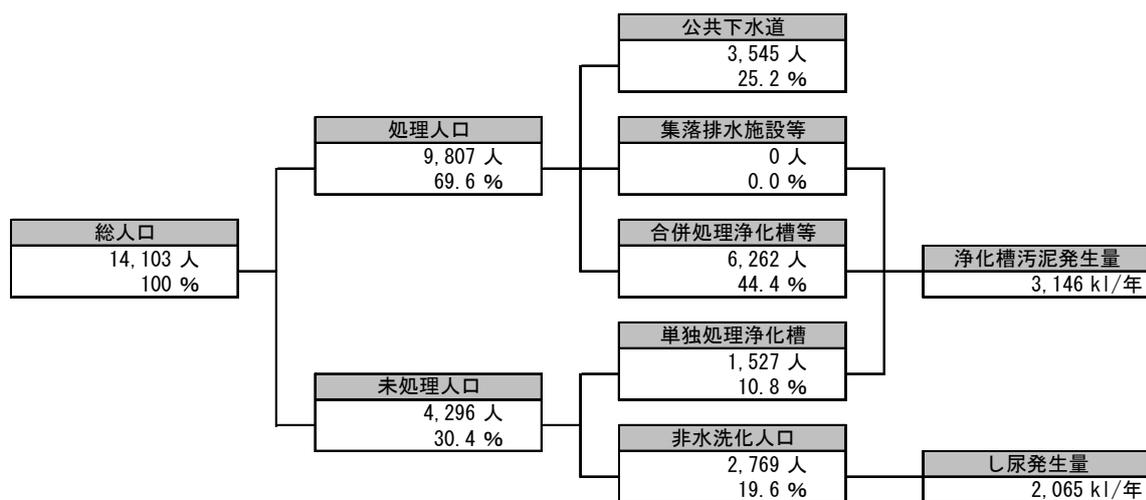


図-6 高千穂町の生活排水処理状況フロー（平成21年度実績）

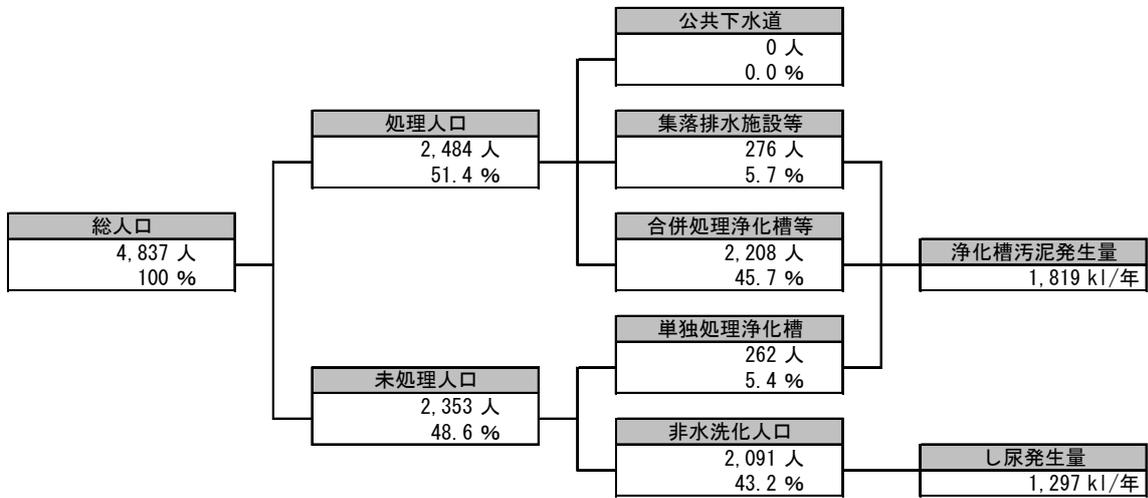


図-7 日之影町の生活排水処理状況フロー（平成21年度実績）

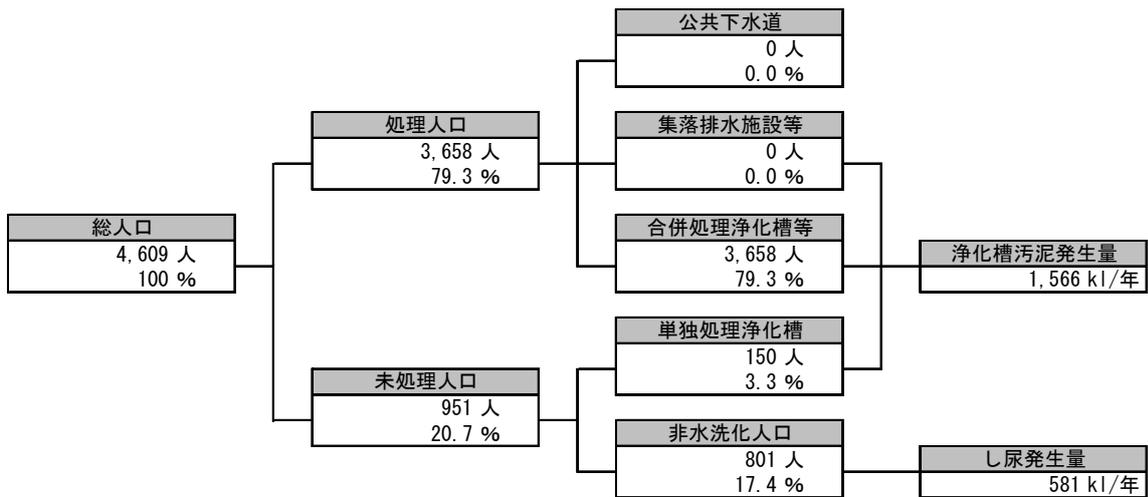


図-8 五ヶ瀬町の生活排水処理状況フロー（平成21年度実績）

(3) 一般廃棄物等の処理の目標

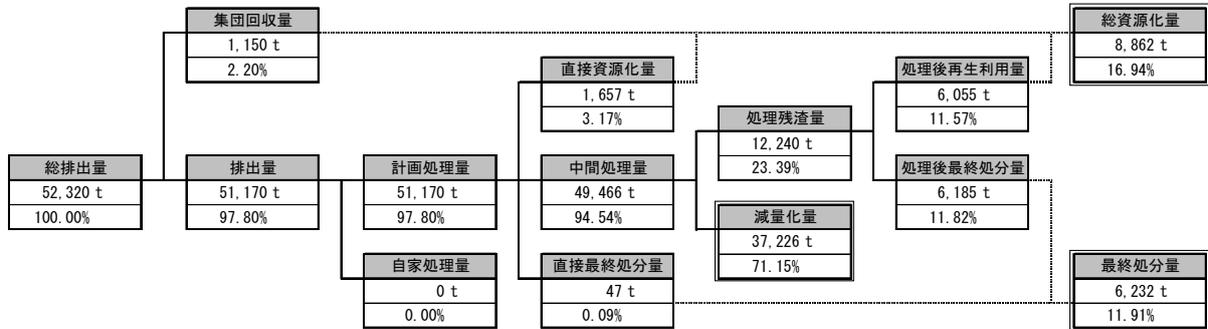


図-9 延岡市の一般廃棄物の処理状況フロー（平成28年度目標）

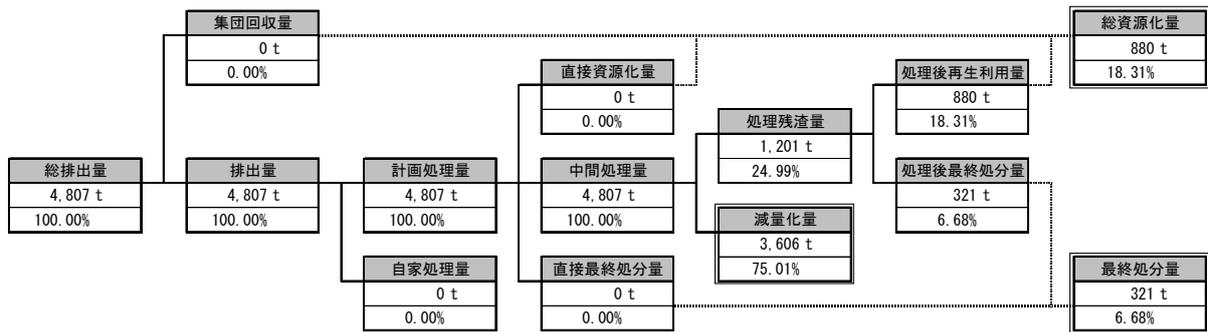


図-10 西臼杵郡衛生組合の一般廃棄物の処理状況フロー（平成28年度目標）

(4) 生活排水処理の目標

表-1 延岡市の生活排水処理に関する現状と目標

項 目		平成21年度実績	平成28年度目標
処理形態別人口	公共下水道	85,571 人 (63.9 %)	86,384 人 (70.1 %)
	農業集落排水施設等	6,611 人 (4.9 %)	6,611 人 (5.4 %)
	合併処理浄化槽等	16,568 人 (12.4 %)	18,929 人 (15.3 %)
	未処理人口	25,178 人 (18.8 %)	11,313 人 (9.2 %)
	合計(生活排水処理率)	133,928 人 (81.2 %)	123,237 人 (90.8 %)
し尿・汚泥の量	し尿量	4,932 キロリットル	2,216 キロリットル
	浄化槽汚泥量	26,986 キロリットル	22,378 キロリットル
	合 計	31,918 キロリットル	24,594 キロリットル

表-2 高千穂町の生活排水処理に関する現状と目標

項 目		平成21年度実績	平成28年度目標
処理形態別人口	公共下水道	3,545 人 (25.1 %)	3,667 人 (28.1 %)
	農業集落排水施設等	— 人 (— %)	— 人 (— %)
	合併処理浄化槽等	6,262 人 (44.4 %)	7,219 人 (55.2 %)
	未処理人口	4,296 人 (30.5 %)	2,176 人 (16.7 %)
	合計(生活排水処理率)	14,103 人 (69.5 %)	13,062 人 (83.3 %)
し尿・汚泥の量	し尿量	2,065 キロリットル	1,369 キロリットル
	浄化槽汚泥量	3,146 キロリットル	3,062 キロリットル
	合 計	5,211 キロリットル	4,431 キロリットル

表-3 日之影町の生活排水処理に関する現状と目標

項 目		平成21年度実績	平成28年度目標
処理形態別人口	公共下水道	— 人 (— %)	— 人 (— %)
	農業集落排水施設等	276 人 (5.7 %)	276 人 (6.4 %)
	合併処理浄化槽等	2,208 人 (45.7 %)	2,618 人 (60.7 %)
	未処理人口	2,353 人 (48.6 %)	1,419 人 (32.9 %)
	合計(生活排水処理率)	4,837 人 (51.4 %)	4,313 人 (67.1 %)
し尿・汚泥の量	し尿量	1,297 キロリットル	781 キロリットル
	浄化槽汚泥量	1,819 キロリットル	2,015 キロリットル
	合 計	3,116 キロリットル	2,796 キロリットル

表-4 五ヶ瀬町の生活排水処理に関する現状と目標

項 目		平成21年度実績	平成28年度目標
処理形態別人口	公共下水道	— 人 (— %)	— 人 (— %)
	農業集落排水施設等	— 人 (— %)	— 人 (— %)
	合併処理浄化槽等	3,658 人 (79.4 %)	4,139 人 (100.0 %)
	未処理人口	951 人 (20.6 %)	— 人 (— %)
	合計(生活排水処理率)	4,609 人 (79.4 %)	4,139 人 (100.0 %)
し尿・汚泥の量	し尿量	581 キロリットル	— キロリットル
	浄化槽汚泥量	1,566 キロリットル	1,708 キロリットル
	合 計	2,147 キロリットル	1,708 キロリットル